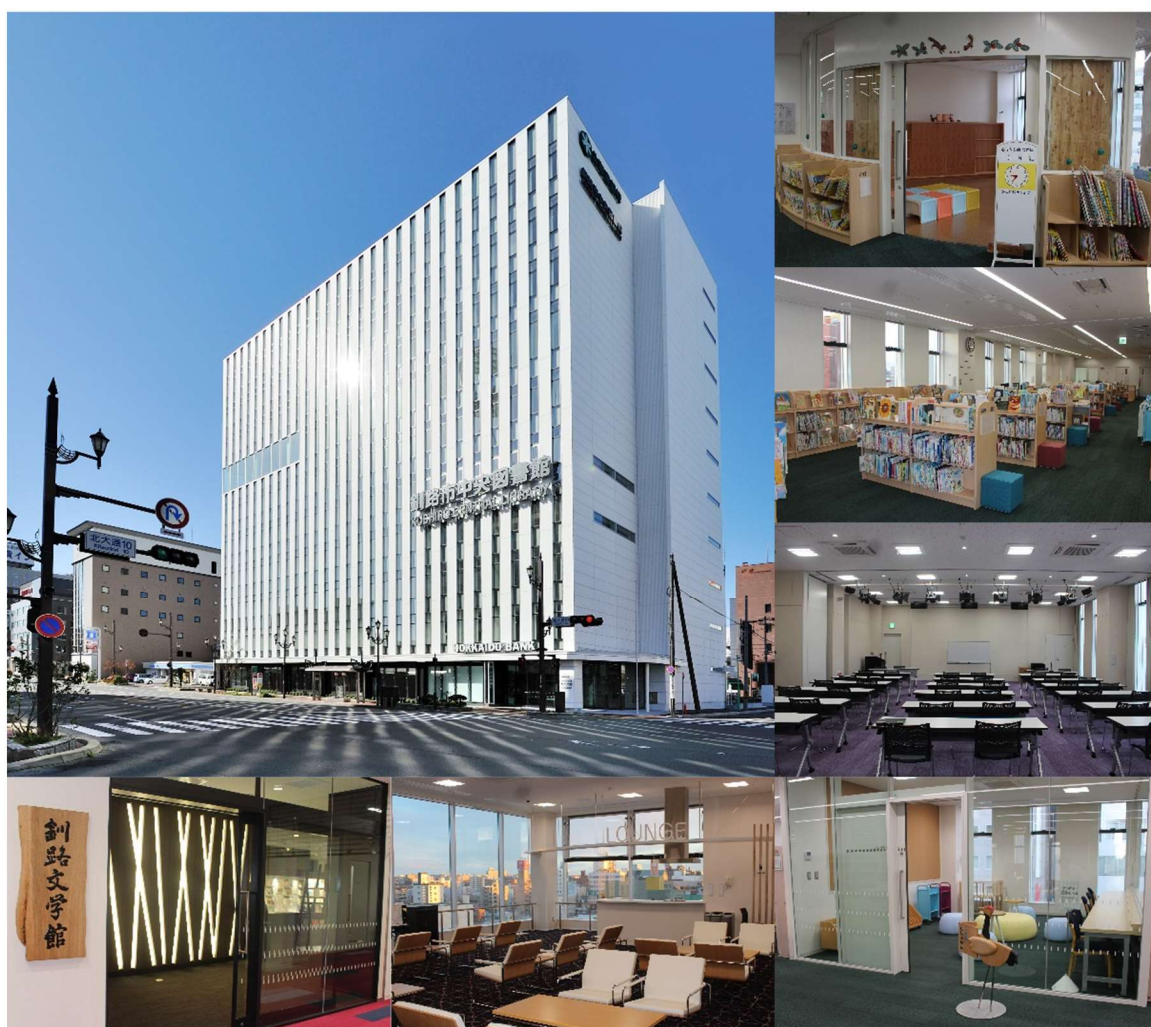


第2期 釧路市図書館基本計画

2020年度～2029年度
(令和2年度～令和11年度)



釧路市教育委員会

目次

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨	1
2 計画期間	1
3 計画における具体的施策の取組状況	1
4 釧路市図書館基本計画体系	2

第2章 基本目標と具体的施策

基本目標Ⅰ 地域の情報拠点としての資料充実

① 基本的な図書資料の充実	3
② 利用困難者サービス資料の充実	4
③ 児童・青少年向け資料の充実	4
④ 図書館として求められる資料構成の検討・整備	4

基本目標Ⅱ 地域の歴史・文化の醸成と発信

① 地域資料の充実	5
② アイヌ文化関連資料の充実	6
③ 自然関連資料の充実	6
④ 地域資料・アイヌ文化関連資料等の情報発信	6

基本目標Ⅲ 図書館の利用機会拡大

① すべてのライフステージに応じたサービスの充実	7
② 外国人へのサービスの充実	9
③ 非来館型サービスの充実	9
④ 図書館情報・サービスの情報発信	10

基本目標Ⅳ 課題解決型図書館機能の充実

① レファレンス機能の強化と普及	11
② 地域の特性や専門的な資料・情報・サービスの提供	11
③ 利用者が調べやすい環境づくり	12

基本目標Ⅴ 学校や関係機関との連携

① 学校図書館との連携・協力	13
② 他の図書館施設との連携・協力	13
③ 行政機関、関係機関との連携・協力	14

基本目標Ⅵ 人の成長とつながりを育む図書館活動

① 人と人をつなぐコミュニティ空間としての図書館	15
② 各年代に応じた読書活動の推進	15
③ 市民との協働による図書館活動の展開	16
④ 地域の活性化に役立つ図書館	16

第3章 資料編

1	釧路市図書館施設の概要	17
2	釧路市図書館の沿革	23
3	図書館利用者等意向調査結果	26
4	第1期釧路市図書館基本計画と具体的施策の取組状況	32
5	釧路市の図書館における貸出人数の推移	46
6	釧路市の図書館における貸出数の推移	47
7	釧路市の図書館における資料数の推移	48
8	釧路市中央図書館の蔵書構成	49
9	第2期釧路市図書館基本計画策定委員会設置要綱	50
10	第2期釧路市図書館基本計画策定委員会委員名簿	51
11	第2期釧路市図書館基本計画策定委員会検討経過	51

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

現代社会は、高度情報化の進展、少子高齢化の進行、人口減少など、さまざまな課題を抱えながら、めまぐるしい変化を続けています。その中であって、図書館は、知識や情報が、社会、経済などのあらゆる領域での活動基盤として重要性を増す「知識基盤社会」における地域の情報拠点として、市民と社会の求めに応え、地域の実情に即した運営が求められています。

釧路市図書館基本計画は、釧路市がめざす図書館のあり方を明らかにし、図書館の機能と資源を活かすことで、市民とともに育む豊かな図書館活動を実現することを目的に、計画期間を平成22年度から平成31年度までの10年間として策定されました。

平成30年には、図書館を北大通に移転開館しており、今後は新機能を活用した新しい図書館の特徴的な取組を踏まえ、新たな計画の策定が望まれております。このような状況において、平成21年度に策定された第1期釧路市図書館基本計画が令和元年度に計画期間を終了することから、これまでの成果や課題、急速に変化する社会情勢の変化等を踏まえ、新たに第2期釧路市図書館基本計画を策定することとしました。

この計画は、釧路市がめざす図書館のあり方を基本理念として示し、その基本理念を具現化する6つの基本目標を定め、それぞれの目標に沿って、具体的施策に取り組み、市民とともに計画を実現していくことをめざし、学校教育関係者、市民活動団体関係者、学識経験者、図書館協力団体関係者などで構成する策定委員会の提言を踏まえ、策定いたしました。

2 計画期間

計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間とします。

なお、社会情勢などの変化に対応するため、中間年（令和7年度）に見直しを行います。

3 計画における具体的施策の取組状況

釧路市の図書館は、平成22年度から第1期釧路市図書館基本計画に基づいて運営してきました。年度毎に図書館施設全体の連携を踏まえた事業計画を作成し、図書館運営の中で事業を実施し、取組状況を検証しながら結果を次年度の運営と事業に活かしています。

第1期釧路市図書館基本計画の中で、基本目標Ⅰ～Ⅵを実現するための基盤として定められた「基本目標Ⅶ 図書館施設と運営体制の充実」の2つの施策について、実現することができました。旧計画における「具体的施策1 新図書館整備の推進」については、平成30年2月に釧路市中央図書館を整備し、「具体的施策2 市内図書館関係施設の運営体制の充実」については、平成28年度よりコミュニティセンター図書室を教育委員会の所管として、指定管理者による一元的な管理運営が図られています。また、釧路市中央図書館に釧路文学館も整備され、文学団体等との協議を重ねながら、図書館と文学館が相乗効果を発揮した運営をしております。

基本計画の具体的施策を図書館運営の中で実践していくため示した計画項目は、すべての項目について取組が行われ、計画に基づいた図書館運営が行われています。新しく策定する計画においても、基本目標ごとに具体的施策を設け、実践する主な施策を82項目示し、図書館運営において実践していきます。

4 釧路市図書館基本計画体系

基本理念

ひがし北海道の歴史・文化を未来につなぎ
心豊かな人の成長と地域づくりをささえる図書館

基本目標

具体的施策

I 地域の情報拠点としての資料充実

- ① 基本的な図書資料の充実
- ② 利用困難者サービス資料の充実
- ③ 児童・青少年向け資料の充実
- ④ 図書館として求められる資料構成の検討・整備

II 地域の歴史・文化の醸成と発信

- ① 地域資料の充実
- ② アイヌ文化関連資料の充実
- ③ 自然関連資料の充実
- ④ 地域資料・アイヌ文化関連資料等の情報発信

III 図書館の利用機会拡大

- ① すべてのライフステージに応じたサービスの充実
- ② 外国人へのサービスの充実
- ③ 非来館型サービスの充実
- ④ 図書館情報・サービスの情報発信

IV 課題解決型図書館機能の充実

- ① レファレンス機能の強化と普及
- ② 地域の特性や専門的な資料・情報・サービスの提供
- ③ 利用者が調べやすい環境づくり

V 学校や関係機関との連携

- ① 学校図書館との連携・協力
- ② 他の図書館施設との連携・協力
- ③ 行政機関、関係機関との連携・協力

VI 人の成長とつながりを育む
図書館活動

- ① 人と人をつなぐコミュニティ空間としての図書館
- ② 各年代に応じた読書活動の推進
- ③ 市民との協働による図書館活動の展開
- ④ 地域の活性化に役立つ図書館

第2章 基本目標と具体的施策

基本目標Ⅰ 地域の情報拠点としての資料充実

【現状と課題】

釧路市図書館施設は、釧路市図書館資料収集方針（平成28年4月1日）に基づき、本市の図書館が市民の生涯学習を支え、情報拠点としての役割を果たすために必要な図書資料を収集しています。

また、長期にわたり保存し続けてきた資料は、図書館の収容能力を考慮し、除籍方針に沿って、保存、廃棄を慎重に判断し、魅力ある資料構成に努めています。

国の政策である「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年改正）では、図書館は地域の実情に応じ、住民のために資料や情報の提供等直接的なサービスを行うこととし、地域の情報拠点として重要な役割を担うことが求められています。

地域の情報拠点として、多種多様化する地域の課題と利用者ニーズを捉え、課題解決につながる資料提供はもとより、インターネット対応や電子書籍を含む資料の収集をはじめ、収集資料の種類別に主な施策を設定し、計画的な資料の充実に努めていきます。

①基本的な図書資料の充実

- ・一般的な図書資料、逐次刊行物、視聴覚資料を確実に収集、整備し、インターネット時代も変わらない図書資料の持つ価値を市民に提供していきます。一方で、インターネット時代に対応した電子版資料への対応についても検討していきます。

○図書資料（一般図書）

主な施策	計画	
	前期5年	後期5年
一般資料の継続的な収集、整備	実施	実施
電子書籍等の導入検討	検討/実施	実施
オンラインデータベースの充実	実施	実施

○逐次刊行物（新聞・雑誌等）

主な施策	計画	
	前期5年	後期5年
逐次刊行物の継続的な収集、整備	実施	実施
逐次刊行物電子版の導入検討	検討/実施	実施

○視聴覚資料（CD・DVD等）

主な施策	計画	
	前期5年	後期5年
視聴覚資料の継続的な収集、整備	実施	実施
DVDの貸出検討	検討/実施	実施
電子化された視聴覚資料の利用検討	検討/実施	実施

②利用困難者サービス資料の充実

- ・利用困難者（高齢者、障がい者等）向けの資料として、朗読文庫や大活字本などの資料の充実を図り、誰でも利用しやすい図書館を目指します。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
拡大読書機の充実	実施	実施
朗読文庫、大活字本の継続的な収集、整備	実施	実施

③児童・青少年向け資料の充実

- ・児童、青少年向けの図書資料の充実を図り、児童、青少年コーナーを設けたり、テーマ別に分類することで、児童と青少年の利用を促します。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
児童向け資料の継続的な収集、整備	実施	実施
青少年向け資料の継続的な収集、整備	実施	実施

④図書館として求められる資料構成の検討・整備

- ・資料収集方針に従って、市内 6 館（室）が連携を図りながら、資料収集に努めていますが、市民ニーズや時代背景、地域の特性にも配慮しながら、図書資料の整備に努めていきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
地域の特性を活かした資料の収集と配置	実施	実施
時代のニーズの把握と時代に適応した資料収集方針の検討	実施	実施
寄贈図書の積極的な受入と活用	実施	実施

【図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年改正）】

文部科学省が施行している図書館法に基づいた、図書館が健全に発達していくために実施していくべき図書館サービスの基準。すべての図書館は基準を満たすよう努めなければならないとされている。

基準内で市町村立図書館の図書サービスとして挙げられているものは以下の 6 項目。

1. 貸出サービス
2. 情報サービス
3. 地域の課題に即したサービス
4. 利用者に対応したサービス
5. 多様な学習機会の提供
6. ボランティア活動等の促進

【オンラインデータベース】

関連しあう資料、情報を収集、整理、蓄積し、コンピュータを使った検索や更新等、利用しやすいように工夫されたデータベースをインターネットなどの通信回線で結ばれたところで利用できるもの。

【大活字本】

弱視者や高齢者が読みやすいように配慮された、大きな活字で印刷された本。

基本目標Ⅱ 地域の歴史・文化の醸成と発信

【現状と課題】

本市の図書館は、地域の歴史や文化を次世代に伝えることを重要な責務とし、本市の歴史や現状を記した貴重な資料については、地域資料として積極的に収集と保存に努めてきました。地域資料は形態が様々であり、適切な収集と保存のためには博物館や美術館等の地域資料に関わる関係機関や研究者との連携が必要であり、また地域資料は通常の出版ルート以外で発行されている場合もあることから、古書情報や新聞記事、地域や市民から提供された情報等による収集に努めます。

また、資料をインターネット上での公開や展示会等を通して発信していくことにより、市民はもとより他地域の人々にも釧路の歴史、文化を知ってもらい理解してもらうことにつながることから、引き続き充実に努めます。

地域資料の中には時間の経過とともに、劣化の進んでいる資料があります。そのため、経年劣化への対応と、さらに広く公開するため、資料のデジタル化について検討、実施していきます。

また、平成30年に釧路ゆかりの文学に関する資料を収集、保存するとともに、展示や講座、朗読会を行うなど、地域の文学活動を支える拠点としての釧路文学館が開館しました。釧路文学館との役割分担を明確にし、連携を図ることで、効率的な地域資料の収集と保存を行い、地域の歴史、文化の醸成と発信に努めます。

①地域資料の充実

- ・本市の歴史や文化などの地域資料や、本市にゆかりのある人物に関連する資料を網羅的に収集し、保存提供していきます。市内6館（室）の図書館と釧路文学館が連携することで、効率的な資料収集や公開にも努めていきます。

主な施策	計画	
	前期5年	後期5年
地域資料の積極的な収集、整備	実施	実施
地域資料の修理、製本	実施	実施
地域資料のデジタル化	実施	実施
釧路出身者、在住者関連資料の収集、整備	実施	実施
釧路文学館と連携した資料収集、公開	実施	実施
寄贈地域資料の積極的な受入と活用	実施	実施

②アイヌ文化関連資料の充実

- ・ひがし北海道のアイヌ文化の情報拠点の一つとして、博物館などの社会教育施設と連携しながら、アイヌ文化関連資料を収集、提供していきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
アイヌ文化関連資料の積極的な収集、整備	実施	実施
アイヌ文化関連資料の修理、製本	実施	実施
アイヌ文化関連資料のデジタル化	検討/実施	実施

③自然関連資料の充実

- ・釧路市には「釧路湿原」「阿寒摩周」の二つの国立公園や特別天然記念物「タンチョウ」「阿寒湖のマリモ」など世界的にも貴重で魅力あふれる地域資源が豊富にあることから、釧路の自然に関連した資料を収集、提供していきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
国立公園関連資料の積極的な収集、整備	実施	実施
特別天然記念物関連資料の積極的な収集、整備	実施	実施

④地域資料・アイヌ文化関連資料等の情報発信

- ・本市の歴史や文化などに触れることができる講座や展示会などの機会を提供することで文化の醸成と発信に努めます。またインターネット上での地域資料、アイヌ文化関連資料、自然関連資料の情報発信も積極的に行っていきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
地域資料、アイヌ文化関連資料、自然関連資料のインターネット上での情報発信（ホームページ、SNS等）	実施	実施
地域資料、アイヌ文化関連資料、自然関連資料に関する講座や展示等での情報発信	実施	実施
釧路市全般に関する講座や展示等の開催	実施	実施

【SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）】

LINE、Twitter、Facebookなどの、インターネットを利用した交流を通じて、社会的ネットワークを構築するサービスのこと。

基本目標Ⅲ 図書館の利用機会拡大

【現状と課題】

図書館は心豊かな暮らしと学びに役立つ資料や情報を収集、提供し、誰もが共有の財産である資料や情報を利用できる施設です。

近年ではインターネットの普及により、図書館以外での情報の収集が容易になったことで、図書館が持つ情報価値が相対的に低下しており、図書館の必要性や存在意義が問われている状況にあります。

図書館は誰でも気軽に利用できることから、図書館の利用機会を拡大するために、年齢等が幅広い利用者それぞれのライフステージに応じた読書環境の整備と読書活動の支援が必要となっています。

新たな視点としては、従来からの全館統一的なサービスに加え、各館の特性や取り巻く環境に応じたサービス内容の特色化が必要となっています。例えば、周辺に高齢者が多く在住する図書館では趣味や生活に密着したコーナーづくりを、子どもが周辺に多く在住する図書館では子ども向け事業の充実を行うなど、地域の状況に合わせて、より特色を持ったサービス展開を検討していく必要があります。

また、図書資料の貸出のみではなく、より多くの人に身近な場として図書館を有効に活用してもらうために、おはなし会や朗読会など本の魅力や読書の楽しさに触れるきっかけづくりとなる事業などを充実していく必要もあります。そして、多くの方々に図書館を生活の一部として役立ててもらうためには、これまで以上に図書館サービスについて情報を発信しなければなりません。来館したことのない人や、来館頻度の低い利用者には図書館に来てもらうため、リピーターにつながるような情報発信に努めます。あらゆる世代が集い、本を通して「人」と「人」、「人」と「まち」がつながっていき、「ずっとここにいたくなる」「何度でも来てみたくなる」ような「滞在型図書館」を目指していきます。

①すべてのライフステージに応じたサービスの充実

- ・利用者の年齢や利用目的など様々な要望に応じることができる図書館として、乳幼児、児童の「読書の習慣づけ」に対応するサービスの充実、中高生、大学生などの「読書離れ」に対応するサービスの充実、成人の「暮らし」に対応するサービスの充実、高齢者、障がい者の「生きがい」に対応するサービスの充実など、各ライフステージに応じたサービスの充実を図っていきます。

○乳幼児・児童に対応したサービスの充実

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
おはなし会、読み聞かせなど読書習慣定着を目指すためのサービスの継続実施	実施	実施
読書活動サポートセットの充実	実施	実施
保護者を対象とした講座やイベントの開催検討	検討/実施	実施

○中学生・高校生・大学生等に対応したサービスの充実

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
中学生、高校生、大学生向けの読書の動機づけ施策の充実検討（各年代別の施策の検討や世代間交流など）	検討/実施	実施
青少年活動を支援する資料の収集（資格、就職など）	実施	実施
学生の図書館利用の推進（学習室、ティーンズルームの利用方法の検討など）	検討/実施	実施

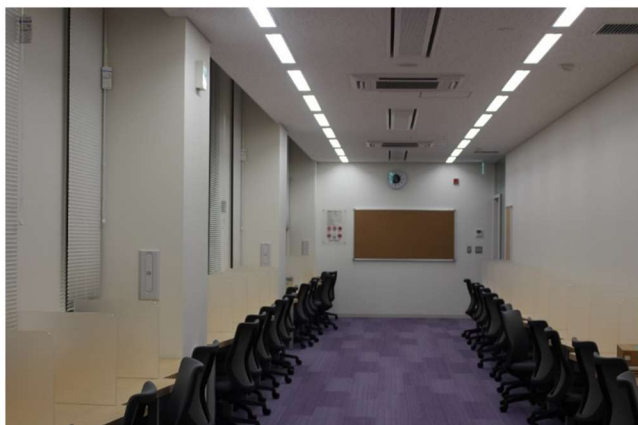
○成人に対応したサービスの充実

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
勤労者向けのビジネス資料の充実、転職、経営などの専門コーナーの充実	実施	実施
家事、健康、医療、趣味など日常生活に関する資料の充実や関連する講座等の開催検討	検討/実施	実施
子育てステージに対応した絵本、育児書の充実	実施	実施

○高齢者・障がい者に対応したサービスの充実

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
図書館で行われている高齢者、障がい者へのサービスの情報発信	実施	実施
対面朗読等のサービスの充実	実施	実施
福祉団体等関係機関との連携	実施	実施

学習室（釧路市中央図書館 7 階）



対面朗読室（釧路市中央図書館 5 階）

②外国人へのサービスの充実

- ・外国語資料の収集はもとより、地域の一員である外国人がより図書館を利用しやすいサービスの充実に努めていきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
外国語資料の充実	実施	実施
インターネットの外国語対応の充実	実施	実施
外国語に対応した案内、看板の充実	実施	実施
外国語に対応できる職員の配置検討	検討/実施	実施
外国語によるおはなし会の充実検討	検討/実施	実施

③非来館型サービスの充実

- ・図書館バスの貸出による配本サービスや団体貸出サービスなど、アウトリーチサービスを展開し、様々な場所で読書に親しむことができる環境の整備や機会の充実に努めていきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
図書館バスを利用したサービスの充実	実施	実施
団体貸出サービスの充実	実施	実施
来館困難者へのサービスの検討	検討/実施	実施

図書館バス（釧路市中央図書館）



④図書館情報・サービスの情報発信

- ・図書館そのものの情報や実施しているサービスを様々な方法で積極的に広報、情報発信することや、年代や利用目的を絞ったイベントなどを実施することで図書館の利用拡大に努めていきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
インターネットを活用した図書館情報、図書館サービスの情報発信（ホームページ、SNS等）	実施	実施
各種施設等との連携による情報発信	実施	実施
図書館だよりの発行、新聞掲載などによる広報活動	実施	実施
各年代やライフステージに対応したイベントや講座の開催検討	検討/実施	実施

【団体貸出サービス】

図書館が行っている貸出サービスのひとつ。利用するためには団体登録が必要であるが、1回の貸出につき300冊までの図書を30日間貸出している。

釧路市中央図書館だより

令和元年 11 月 1 日 釧路市中央図書館報
(1)

釧路市中央図書館だより 11 月号

第 150 号
編集・発行・販売先 釧路市中央図書館 開館時間 9:30～19:30
〒085-0015 釧路市北大通 10 丁目 2-1 電話 64-1740 FAX 64-1741
ウェブサイト <http://kushirolibrary.jp>




資料検索

お知らせ

● **としょかんフェスタ 2019 開催!!**

今年も読書の秋に図書館フェスタを開催します。2日(土)～4日(月)の3日間、様々な催しが盛りだくさん！詳細はフェスタのポスター、ちらしをご覧ください。

◆ **図書館ボランティア養成講座** ◆

図書館で本の整理、修理、ブックコートがけ、読み聞かせをしてくださるボランティアを募集します。お申し込みはお電話、または中央図書館カウンターへお願いいたします。

募集期間: 1日(金)～10日(日)
会場: 中央図書館 7階多目的ホール
開催: 11月14日(木)
時間: 13:00～15:00
定員: 20名

◆ **寺島敏治氏講演会「旧『釧路新聞』に見られる諸相と国の馬政策」** ◆

会場: 中央図書館 7階多目的ホール
開催: 11月17日(日)
時間: 13:30～15:00
定員: 80名 申込不要

▼ **子どもと読書をつなぐ講座**

「読書につながる読み聞かせ」▼

講師: 絵本専門士 高木真美さん
会場: 中央図書館 7階多目的ホール
開催: 11月12日(火)
時間: 10:00～11:30
定員: 80名 申込不要・参加無料
主催: おはなしネットぽんぽん・北海道教育委員会

● 7 階展示室 ●

● **「第 151 周年灯台記念日特別展」**

8日(金) 11:30～18:00
9日(土) 9:30～18:00
10日(日) 9:30～16:00

● **シャドウボックス ラ・マーニくしろ 作品展**

12日(火)～19日(火)まで
9:30～19:30(初日は 13:00 から、最終日は 18:00 まで)

● 7 階多目的ホール ●

● **「釧路模型展示会 2019」**

23日(土) 11:00～19:00
24日(日) 10:00～18:00

基本目標Ⅳ 課題解決型図書館機能の充実

【現状と課題】

本市の図書館では、図書館の資料と機能を活用することで地域と市民の課題解決につながる、課題解決型機能の充実に積極的に取り組んできました。中でも調べ物相談サービス（レファレンスサービス）は釧路市図書館基本計画の第1期計画においても、機能の強化に取り組んできました。

国の政策である「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年改正）においても、市町村立図書館が実施する図書館サービスのひとつとして、地域の課題に対応したサービスが明記されたことから、図書館による地域の課題解決への支援は、これまでも増して重視されるものであるため、引き続きレファレンスサービスを中心に、地域住民の一人ひとりの課題を解決するための機能を高めていきます。

また、ビジネス支援や子育て支援などを対象とした資料の収集やサービスの強化により、地域の特性に応じて、地域が抱える課題の解決に役立つ資料や情報を収集、提供するために、これまで以上に地域の課題解決に向けた活動を支援していきます。

①レファレンス機能の強化と普及

- ・利用者が必要とする情報や資料を容易に検索できるように、レファレンスサービスを充実していきます。また、多くの市民にレファレンスサービスを利用してもらえるようにPRしていきます。

主な施策	計画	
	前期5年	後期5年
レファレンス事例の収集、活用	実施	実施
レファレンスツールの充実	実施	実施
レファレンスサービスのPR	実施	実施

②地域の特性や専門的な資料・情報・サービスの提供

- ・地域や市民が抱える課題の対象を絞ることで、専門性の高い課題について、対応を行えるよう努めます。また、就労や子育て、介護などの関連機関に関する情報を幅広く提供することで市民の課題解決の支援を行っていきます。

主な施策	計画	
	前期5年	後期5年
資格や自己啓発に関する資料、情報、サービスの提供	実施	実施
市民生活に役立つ資料、情報、サービスの提供 （就職、起業、育児、健康、福祉、法律など）	実施	実施
関連機関で開催する講座、イベント情報の提供	実施	実施
関連機関の発行するチラシやパンフレットの提供	実施	実施

③利用者が調べやすい環境づくり

- ・図書館利用者が課題解決のために、パスファインダーの充実や図書館の利用講座の開催など、図書館の機能やサービスを活用した調べやすい環境づくりに努めていきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
利用者がわかりやすい配架やサインの工夫	実施	実施
パスファインダーの充実	実施	実施
オンラインデータベースの利用促進（利用講座の開催等）	実施	実施

【レファレンスサービス】

利用者の求めに応じて、情報や資料を提供するなど、図書館職員によって行われる調べものの支援とそのために必要な資料を整備すること。

【パスファインダー】

特定のテーマに関する資料や情報について、図書館で探す方法や閲覧できる資料等を紹介したリーフレット。

基本目標Ⅴ 学校や関係機関との連携

【現状と課題】

図書館が市民に必要な情報を迅速に提供することや課題解決の支援、読書活動の推進などを行うためには、市内外の図書館はもちろん国や北海道、市の関係部局などの行政機関、各種学校や商工会議所などの地域関連機関などと連携を図ることが必要です。

近年、市民や地域の課題解決のために、地域における起業、就職等ビジネスに関する専門性の高い情報等を求められ、図書館の情報だけでは足りないことが増えており、こうした要求に応えられるように市内にある国や道の行政機関や地域関連機関との連携、協力により積極的な情報収集を行い、情報の提供に努めていくことが必要になります。

また、本市には大学、短期大学、高等専門学校があり、それぞれ図書館機能を有しており、その高等教育機関にしか所蔵していない専門的な図書資料等もあることから、相互の連携についても強化していくことで、市民や地域の課題解決につなげていきます。

併せて、生涯にわたる読書活動や情報活用の基盤を形成する学校と連携することで、将来の図書館利用を促進し、市民の生活をより豊かにしていくことにつなげていきます。

そのためにも、これまで以上に、学校や関係機関、団体との連携と協力を推進していくことはもとより、その内容についても市民に対して、広く周知を図っていきます。

①学校図書館との連携・協力

- ・子どもたちの読書や学びにとって、学校図書館は重要な存在であり、必要な情報活用能力を育む上でも有効な場所であるため、引き続き活動の支援に努めていきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
学校連携用の資料の充実（読書活動サポートセット等）	実施	実施
学校と連携した図書館関連教育の充実 （調べ学習の受入、学校ブックフェスティバル、 ブックトーク、インターンシップ、職場体験等）	実施	実施
小中学生、高校生など年代に応じたイベント等の開催	実施	実施

②他の図書館施設との連携・協力

- ・北海道立図書館や他市町村の図書館、大学等の図書館との連携と協力をするにより、市内図書館に蔵書がないものや、より専門的な資料の提供に対応していきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
北海道立図書館との連携、協力	実施	実施
高等教育機関の図書館（大学、短期大学、高等専門学校）との連携、協力	実施	実施
近隣市町村の図書館との連携、協力	実施	実施

③行政機関、関係機関との連携・協力

- ・利用者のニーズが多様化、高度化する中で図書館の機能を強化するために、行政機関、関係機関との連携、協力を図ります。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
庁内各部局や国、北海道との連携、協力	実施	実施
社会教育施設との連携、協力	実施	実施
民間団体等（ハローワーク、商工会議所、金融機関、医療機関等）との連携、協力	実施	実施

【読書活動サポートセット】

平成30年度から実施している学校図書館支援事業。小学校での学習支援を目的に、各学年の学習内容に即した図書を整備したセットを学校へ貸出し、朝読書や授業等に役立ててもらう取組。



【学校ブックフェスティバル】

平成28年度から実施している、市内小中学校を対象とした読書活動推進事業のひとつ。1,200冊程度の図書を図書館から学校へ持ち込み、児童生徒に図書の貸出と読み聞かせ、朗読を行う取組。



【ブックトーク】

読書意欲を喚起することを目的に、テーマに沿って数冊の本を紹介するもの。

基本目標Ⅵ 人の成長とつながりを育む図書館活動

【現状と課題】

近年はインターネットやスマートフォンなどモバイル機器が急速に普及し、高度情報化による利便性が加速度的に進展する一方で、人間関係の構築やコミュニケーション能力が不足するなどの課題も顕著化しています。こうした社会情勢にあって、地域社会の活性化に役立つ図書館として、各年代に応じた読書活動を推進する事業の展開や、市民が交流する様々なイベントの実施などを通し、同じ関心を持つ人たちの出会いとグループ活動のきっかけづくりを進めるなど「人と人とをつなぐ」図書館づくりが求められています。

そうした中、図書館ではボランティアの協力を得て、読み聞かせや朗読会等を開催したり、見やすく利用しやすい書架の維持や資料の図書整理をしたりするなど、図書館活動においてボランティアは大きな役割を担っています。ボランティアの方々がこれまで培ってきた知識や技能を存分に発揮し、このような活動を継続するためにも、活動の支援はもちろんのこと、新たなボランティアの育成が必要であり、こうした市民協働の取組が図書館環境の充実につながり、市民と共に成長していく図書館づくりにつながっていきます。

①人と人をつなぐコミュニティ空間としての図書館

- ・市民と協働した展示等の事業やワークショップ形式のイベントの実施などにより、人と人がつながる機会の提供や、専門的な知識を持つ地域の人材を活用した講座の開催など、地域の結びつきに向けた支援を図ります。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
市民交流イベントの開催 (ビブリオバトル、読書会、映画会等)	実施	実施
生涯学習活動の場としての図書館の利用推進 (学生の発表の場や読書活動サークル等への会場提供)	実施	実施

②各年代に応じた読書活動の推進

- ・子どもの豊かな心と言葉、学びと社会性を育むため子どもの読書推進を図ります。また成人の読書習慣は生涯学習推進の観点からも重要であり、社会生活上求められる知識、技術の向上に寄与することにもつながるため、成人対象の読書活動の推進も図ります。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
子どもの読書活動の推進	実施	実施
各年代に応じた読書活動の推進 (講演会、展示、読み聞かせ等)	実施	実施

③市民との協働による図書館活動の展開

- ・図書館の書架整理など様々なボランティア活動は図書館環境の向上につながっており、今後も図書館ボランティアの方に協力をいただき利用しやすい図書館を創り育てます。そのためにもボランティア活動支援、育成を強化していきます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
図書館ボランティアとの協働の推進	実施	実施
図書館ボランティアへの活動支援と育成	実施	実施
市民協働事業への市民参加の推進	実施	実施

④地域の活性化に役立つ図書館

- ・地域づくりに取り組む団体や周辺の公共施設や商店街などと連携しながら、中心市街地の活性化など地域振興に努めます。また、市内の産業を支援する情報提供機能を強化し、仕事に役立つサービスの提供に努めます。

主な施策	計画	
	前期 5 年	後期 5 年
市内イベントや地域活動とタイアップした講座等の開催	実施	実施
社会教育施設や近隣商店街などと連携した合同イベントの開催	実施	実施
ビジネス支援サービスの充実	実施	実施

【ビブリオバトル】

参加者が1人5分の持ち時間でおすすめ本を紹介し、全参加者の紹介終了後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を行い「チャンプ本」を決める、「知的書評合戦」ともよばれる読書普及事業。

第3章 資料編

1 釧路市図書館施設の概要

※令和2（2020）年3月現在

（1）釧路市中央図書館

施設概要	住 所		釧路市北大通10-2-1（新釧路道銀ビル3～7階）
	開館日		平成30（2018）年2月3日
	延床面積		5,289.48㎡（図書館貸借部分）
開館時間	開館時間		9：30～19：30
	休館日		毎週月曜（祝日の場合を除く） 毎月最終金曜（館内資料整理日） 年末年始（12月29日～1月3日）
管理運営	形 態		指定管理（平成20年度から導入）
主要施設	書 架 ・ 閲 覧	雑誌・新聞	4F・5F 新聞閲覧コーナー 4～6F 雑誌
		児童図書	4F 児童書コーナー
		幼 児	4F 児童書コーナー、おはなしコーナー
		青少年 （ヤングアダルト）	4F 青少年向け図書コーナー、ティーンズルーム
		一般図書	4F 医学・家事 5F 人文科学・社会科学・自然科学 他、郷土資料 6F 文学
		視聴覚資料	7F 視聴覚コーナー
		その他	6F 釧路文学館
	課題解決	データベース検索 ・パソコン	PC 8台（5F）
		レファレンス	5F レファレンスコーナーあり ※各階カウンターでも随時受付
	障がい者支援		5F 対面朗読室、拡大読書器、読み上げソフト
	研究・学習		7F グループ学習室（2室 計34席） 個人学習室（47席）
	青少年支援		3F 館外支援室
	交 流	会議室・ホール	3F 会議室
			4F ファミリー読書ルーム
			7F 多目的ホール
	市民活動	図書館ボランティア	3F ボランティアルーム
		市民活動支援	—
	バックヤード（閉架）		3F 閉架書庫、出納作業室、資料整備室
	駐車場		70台（図書館専用駐車場）
	駐輪場		30台

(2) 釧路市西部地区図書館

施設概要	住 所		釧路市鳥取北8-3-10（鳥取コミュニティセンター内）
	開館日		平成2（1990）年8月1日
	延床面積		387.49㎡（図書館部分）
開館時間	開館時間		9：30～19：30
	休館日		毎週月曜 毎月最終金曜（館内資料整理日） 年末年始（12月29日～1月3日）
管理運営	形 態		指定管理（平成28年度から図書館分館として管理運営を一元化）
主要施設	書 架 ・ 閲 覧	雑誌・新聞	雑誌・新聞コーナー
		児童図書	児童図書コーナー
		幼 児	読み聞かせスペース
		ヤングアダルト （青少年）	ヤングアダルトコーナー
		一般図書	一般図書コーナー
		視聴覚資料	視聴覚コーナー
		その他	—
	課題解決	データベース検索 ・パソコン	PC 1台
		レファレンス	カウンターにて受付
	障がい者支援		—
	研究・学習		—
	青少年支援		—
	交 流	会議室・ホール	—
	市民活動	図書館ボランティア	—
		市民活動支援	—
	バックヤード（閉架）		閉架書庫
	駐車場		98台（鳥取コミュニティセンターと供用）
	駐輪場		—

(3) 釧路市東部地区図書館

施設概要	住 所		釧路市益浦1-20-20（東部地区コミュニティセンター内）
	開館日		平成5（1993）年10月1日
	延床面積		374.30㎡（図書館部分）
開館時間	開館時間		9：30～19：30
	休館日		毎週月曜 毎月最終金曜（館内資料整理日） 年末年始（12月29日～1月3日）
管理運営	形 態		指定管理（平成28年度から図書館分館として管理運営を一元化）
主要施設	書 架 ・ 閲 覧	雑誌・新聞	雑誌・新聞コーナー
		児童図書	児童図書コーナー
		幼 児	読み聞かせスペース
		ヤングアダルト （青少年）	ヤングアダルトコーナー
		一般図書	一般図書コーナー
		視聴覚資料	視聴覚コーナー
		その他	－
	課題解決	データベース検索 ・パソコン	PC 1台
		レファレンス	カウンターにて受付
	障がい者支援		－
	研究・学習		－
	青少年支援		－
	交 流	会議室・ホール	－
	市民活動	図書館ボランティア	－
		市民活動支援	－
	バックヤード（閉架）		閉架書庫
	駐車場		71台（東部地区コミュニティセンターと共用）
	駐輪場		－

(4) 釧路市中部地区図書館

施設概要	住 所		釧路市愛国191-5511（中部地区コミュニティセンター内）
	開館日		平成12（2000）年 8 月 1 日
	延床面積		364.41㎡（図書館部分）
開館時間	開館時間		9：30～19：30
	休館日		毎週月曜 毎月最終金曜（館内資料整理日） 年末年始（12月29日～1月3日）
管理運営	形 態		指定管理（平成28年度から図書館分館として管理運営を一元化）
主要施設	書 架 ・ 閲 覧	雑誌・新聞	雑誌・新聞コーナー
		児童図書	児童図書コーナー
		幼児	読み聞かせスペース
		ヤングアダルト （青少年）	ヤングアダルトコーナー
		一般図書	一般図書コーナー
		視聴覚資料	視聴覚資料コーナー
		その他	－
	課題解決	データベース検索 ・パソコン	PC 1台
		レファレンス	カウンターにて受付
	障がい者支援		－
	研究・学習		－
	青少年支援		－
	交 流	会議室・ホール	－
	市民活動	図書館ボランティア	－
		市民活動支援	－
	バックヤード（閉架）		閉架書庫
	駐車場		75台（中部地区コミュニティセンターと共用）
	駐輪場		－

(5) 音別町ふれあい図書館

施設概要	住 所		釧路市音別町朝日2-81
	開館日		平成4（1992）年7月
	延床面積		1,312.99㎡
開館時間	開館時間		10：00～18：00
	休館日		毎週月曜・祝日 第3土曜・日曜 年末年始（12月29日～1月3日）
管理運営	形 態		直営（音別生涯学習課）
主要施設	書 架 ・ 閲 覧	雑誌・新聞	雑誌・新聞コーナー
		児童図書	児童図書コーナー
		幼 児	児童閲覧室
		青少年 （ヤングアダルト）	—
		一般図書	・人文科学 ・社会科学 ・自然科学 ・医学 ・家事 ・芸術 ・語学 ・文学 ・郷土資料
		視聴覚資料	視聴覚コーナー
		その他	2F 郷土資料展示室 ・音別ミニ文学コーナー
	課題解決	データベース検索 ・パソコン	PC 1台
		レファレンス	カウンターにて受付
	障がい者支援		—
	研究・学習		学習スペース
	青少年支援		—
	交 流	会議室・ホール	2F 視聴覚室
	市民活動	図書館ボランティア	—
		市民活動支援	—
	バックヤード（閉架）		閉架書庫、資料整備室
	駐車場		101台
	駐輪場		18台

(6) 阿寒町公民館図書室

施設概要	住 所		釧路市阿寒町中央2-4-1（阿寒町公民館内）
	開館日		昭和62（1987）年3月
	延床面積		265.19㎡（図書室部分）
開館時間	開館時間		9：00～17：00
	休館日		毎週月曜・祝日の翌日 毎月最終金曜 年末年始（12月29日～1月3日）
管理運営	形 態		直営（阿寒生涯学習課）
主要施設	書 架 ・ 閲 覧	雑誌・新聞	雑誌コーナー・新聞コーナー（公民館と併用）
		児童図書	児童書コーナー
		幼 児	絵本コーナー
		青少年 （ヤングアダルト）	ティーンズコーナー
		一般図書	一般図書コーナー
		視聴覚資料	－
		その他	－
	課題解決	データベース検索 ・パソコン	PC 1台
		レファレンス	カウンターにて受付
	障がい者支援		－
	研究・学習		－
	青少年支援		－
	交 流	会議室・ホール	－
	市民活動	図書館ボランティア	－
		市民活動支援	－
	バックヤード（閉架）		閉架書庫
	駐車場		80台（公民館駐車場併用）
	駐輪場		8台（公民館駐輪場併用）

2 釧路市図書館の沿革

※合併以前については、旧市町名を記載。

◇1912（明治45）年4月3日【釧路】

東宮（後の大正天皇）行啓の際に御宿舎として建築した公会堂の一室を活用し「釧路教育会附属図書館」を開設。

◇1925（大正14）年2月2日【釧路】

摂政宮（後の昭和天皇）の御成婚を記念して、「御成婚記念釧路市簡易図書館」を開設。これは釧路教育会附属図書館を引き継いだもので、この日をもって「市立釧路図書館」の創設日とする。蔵書数は1,935冊。

◇1935（昭和10）年9月10日【釧路】

元釧路市水道部事務所（幣舞町・旧市役所庁舎横）に移転。

◇1944（昭和19）年11月1日【釧路】

名称を「御成婚記念市立釧路図書館」と改称。

◇1949（昭和24）年2月【阿寒】

村長公宅（阿寒村15線32番地）を転用し「阿寒村公民館」とし、館内に図書室を併設。木造2階建95.7㎡。

◇1950（昭和25）年2月【阿寒】

公民館設置条例制定（阿寒村）。

◇1950（昭和25）年9月1日【釧路】

図書館法の公布により、市立釧路図書館条例を制定。名称を「市立釧路図書館」とする。また、同条例に基づき「市立釧路図書館協議会」を設置。

◇1951（昭和26）年2月20日【釧路】

幣舞町5番地に独立の図書館を建設する。木造モルタル2階建、建物延面積333.9㎡。工事費2,273,880円。蔵書数11,556冊。

◇1955（昭和30）年8月【阿寒】

阿寒駅前旧病院を公民館に転用。

◇1960（昭和35）年12月2日【釧路】

「市立釧路図書館改築促進期成会」が発足。

◇1960（昭和35）年12月【阿寒】

阿寒町16線32番地に公民館を新築。木造モルタル一部2階建、建物延面積514.8㎡。工事費5,740,000円。館内に図書室を併設。

◇1971（昭和46）年10月13日【釧路】

幣舞町4番地の旧市役所庁舎跡地にて、図書館建築工事に着手。

◇1972（昭和47）年10月【阿寒】

阿寒町16線29番地に町民センターを新築。鉄筋コンクリート一部2階建。建物延面積1,652.5㎡。工事費101,300,000円。センター内に図書室を併設。蔵書数5,000冊。

◇1972（昭和47）年10月【音別】

音別町中園1丁目134番地に生活改善センターを新築。鉄筋コンクリート2階建、建物延面積977.83㎡。総工費64,831,000円。センター内に図書室を併設。蔵書数5,000冊。

◇1972（昭和47）年11月30日【釧路】

市立釧路図書館建築工事竣工。鉄筋コンクリート4階地下1階。建物延面積3,028.369㎡。総事業費296,170,000円。蔵書数42,578冊。

◇1973（昭和48）年1月25日【釧路】

新館落成開館式挙行。翌26日より開館。

◇1973（昭和48）年5月15日【釧路】

図書館バスの運行を開始。ステーション15か所配本所2か所。

◇1977（昭和52）年4月【釧路】

図書の郵送貸出を開始。

◇1979（昭和54）年2月17日【釧路】

元釧路市助役渡部五郎氏の遺徳を偲んで「五郎文庫」を開設。

◇1980（昭和55）年5月8日【釧路】

小学校高学年から中・高校生向けの資料を集めた「ヤング・アダルト・コーナー」を設置。

◇1981（昭和56）年12月21日【釧路】

故・村上祐二氏（元村上物産会長）の寄附金を元に「市立釧路図書館資料整備基金」を設立。

◇1984（昭和59）年4月1日【釧路】

視聴覚室にコンパクトディスクを導入。

◇1984（昭和59）年10月9日【釧路】

図書館バス2号車運行を開始。ステーション設置数28か所。後に34か所まで増設。

◇1984（昭和59）年11月22日【釧路】

「市立釧路図書館資料整備基金」運用利益で、水産・石炭・紙パルプ関連資料を購入し、「村上文庫」として開設。

◇1985（昭和60）年2月【釧路】
郷土資料増加目録を発行。
◇1987（昭和62）年3月【阿寒】
阿寒中央2丁目4番1号に公民館を移転改築。鉄筋コンクリート一部3階建、建物延面積3,027㎡。工事費768,210,000円。館内に図書室（265.19㎡）を併設。蔵書数22,091冊。
◇1987（昭和62）年4月1日【釧路】
視聴覚室にレーザーディスクを導入。
◇1990（平成2）年8月1日【釧路】
釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）の開館に伴い、センター内図書室において図書館サービスを開始。
◇1992（平成4）年7月【音別】
音別町朝日2丁目81番地に、音別町ふれあい図書館「みなくる77」が新築され供用を開始。鉄筋コンクリート2階建、建物延床面積1,312.99㎡。総工費522,725,000円。蔵書数30,000冊。
◇1993（平成5）年10月1日【釧路】
釧路市東部地区コミュニティセンター（コア大空）の開館に伴い、センター内図書室において図書館サービスを開始。
◇1994（平成6）年10月1日【釧路】
本館とコア2館との業務連絡等の必要性から図書館連絡車を導入。
◇1995（平成7）年8～11月【釧路】
市立釧路図書館創立70周年記念事業を実施。
◇1996（平成8）年10月1日【釧路】
資料管理業務の電算化に着手。児童室の電算化による貸出・返却サービスの開始。
◇1998（平成10）年3月24日【釧路】
釧路市附属機関に関する条例を改正。各社会教育施設の審議機関を統合し、「釧路市社会教育施設等運営審議会」を新設。これに伴い「市立釧路図書館協議会」を廃止。
◇1998（平成10）年6月2日【釧路】
一般閲覧室の電算化による図書の貸出・返却サービスの開始。
◇1999（平成11）年4月1日【釧路】
開館時間延長（火～金曜日9：30～18：30 一般閲覧室以外17：00まで）。
◇1999（平成11）年5月1日【釧路】
本館とコア鳥取、コア大空とのネットワーク化によりコンピュータによる図書の貸出・返却・検索等のサービスを開始。

◇2000（平成12）年8月1日【釧路】
釧路市中部地区コミュニティセンター（コアかがやき）の開館に伴い、センター内図書室において図書館サービスを開始。これに伴い図書館バスを1台体制に移行。
◇2001（平成13）年4月【阿寒】
北海道立図書館から寄贈を受けた図書館バス（よむよむ）で町内5か所に設けた図書ステーション及び幼稚園・学校に出向き図書の貸出開始。
◇2002（平成14）年5月1日【釧路】
視聴覚資料のうちコンパクトディスク資料の特別貸出を開始。
◇2003（平成15）年8月1日【釧路】
図書館子ども読書支援ボランティア発足。
◇2005（平成17）年10月11日
釧路市、阿寒町、音別町が合併
◇2006（平成18）年
旧・釧路市、阿寒町、音別町の合併に伴い、図書館システムの統合とインターネット環境の整備。
◇2007（平成19）年4月1日
新図書館システム本稼働。インターネットによる蔵書検索、貸出予約等が可能。
◇2008（平成20）年4月1日
市立釧路図書館が指定管理者による運営開始。指定管理者に（株）図書館流通センターを指定する。（平成20年度～平成22年度） 開館時間の変更（火～金曜日9：30～19：30 月曜日が祝日の場合は開館）
◇2009（平成21）年4月
阿寒湖まりむ館の開館に伴い、館内に図書室「よむよむ」を併設。
◇2011（平成23）年4月1日
指定管理者を更新。（株）図書館流通センターを指定。（平成23年度～平成27年度）
◇2012（平成24）年4月
市立釧路図書館の図書館バスを更新。
◇2013（平成25）年8月
市立釧路図書館の無線LAN環境整備を行い、iPadの一般利用を開始。
◇2013（平成25）年10月
図書館システムを更新。

◇2014（平成26）年4月
「新図書館整備市民検討委員会」が発足。
◇2015（平成27）年2月
新図書館の整備に向け「新図書館整備の基本的な考え方」を策定。
◇2016（平成28）年4月1日
コミュニティセンター3館内図書室を本館の分館と位置づけ、管理運営を一元化し、名称を「釧路市西部地区図書館」「釧路市東部地区図書館」「釧路市中部地区図書館」と改称する。指定管理者として（株）図書館流通センターを指定する。（平成28年度）
◇2016（平成28）年6月
北大通10丁目に建設中の新釧路道銀ビル内において、新図書館建設工事に着手。
◇2017（平成29）年4月1日
指定管理者に釧路市民文化振興財団、くしろ知域文化財団コンソーシアムを指定する。（平成29年度～令和2年度）
◇2017（平成29）年10月1日
新図書館移転準備のため、市立釧路図書館（幣舞町4番6）を閉館する。
◇2017（平成29）年12月
「釧路市中央図書館開館記念協賛会」が発足。釧路市中央図書館の資料充実に資するための募金活動を開始。
◇2018（平成30）年2月3日
釧路市中央図書館開館式典を挙げる。同日一般公開を行う。 新図書館内に釧路文学館を開設。同日一般公開を行う。
◇2018（平成30）年6月
小学校国語科の学習支援を目的とした「読書活動サポートセット」の貸出を開始。
◇2018（平成30）年12月
「釧路市中央図書館開館記念協賛会」が解散。（募金累計46,139,393円 個人77件 法人192件）
◇2019（令和元）年5月
釧路市中央図書館を含む「釧路中心拠点地区」が、第1回まちづくり大賞の個別事業部門において「都市みらい推進機構理事長賞」を受賞。

3 図書館利用者等意向調査結果

第2期釧路市図書館基本計画策定の基礎資料とするため、令和元年7月中旬から9月末日の間に実施した「図書館利用者等意向調査」（回収数 727 枚）の結果をもとに、当市図書館の利用状況等を整理します。
（以下、特に記載がない場合は母数(n)=727）

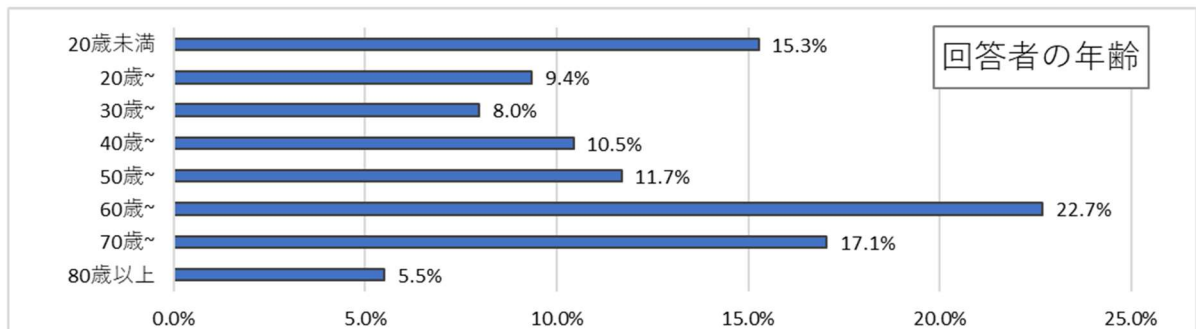
○調査箇所及び回答人数

(人)

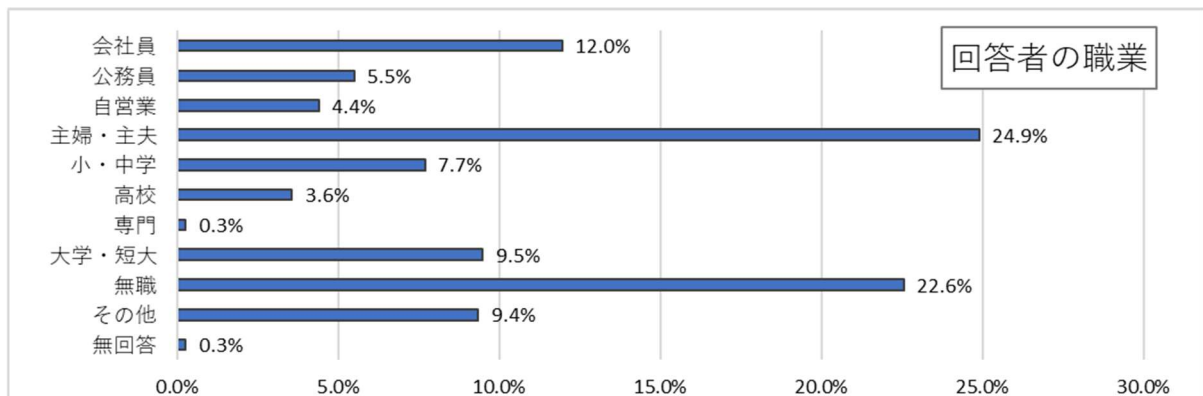
中央	西部	東部	中部	阿寒	音別	一般市民	合計
298	50	51	65	52	64	147	727

（問1）あなたの年齢・職業・住所についておたずねします。

① 年齢



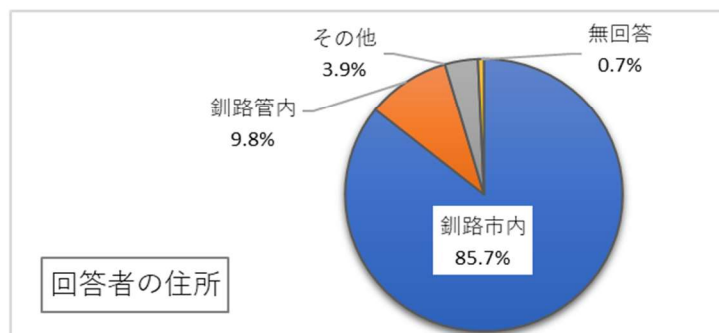
② 職業



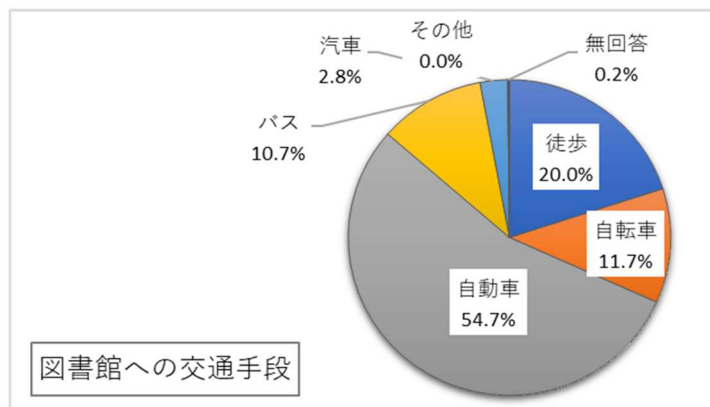
《その他の回答》

・パート ・アルバイト ・介護職

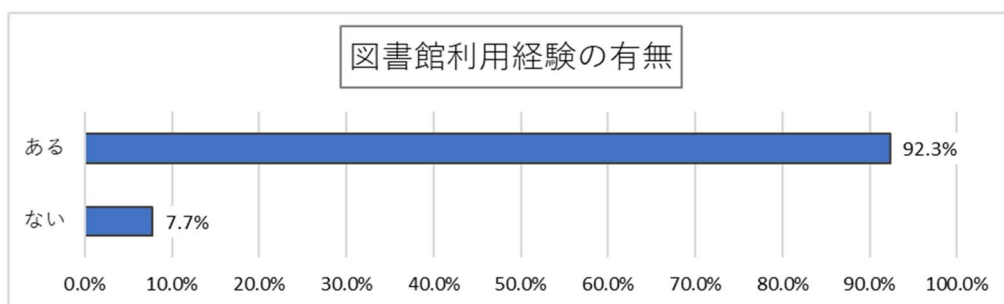
③ 住所



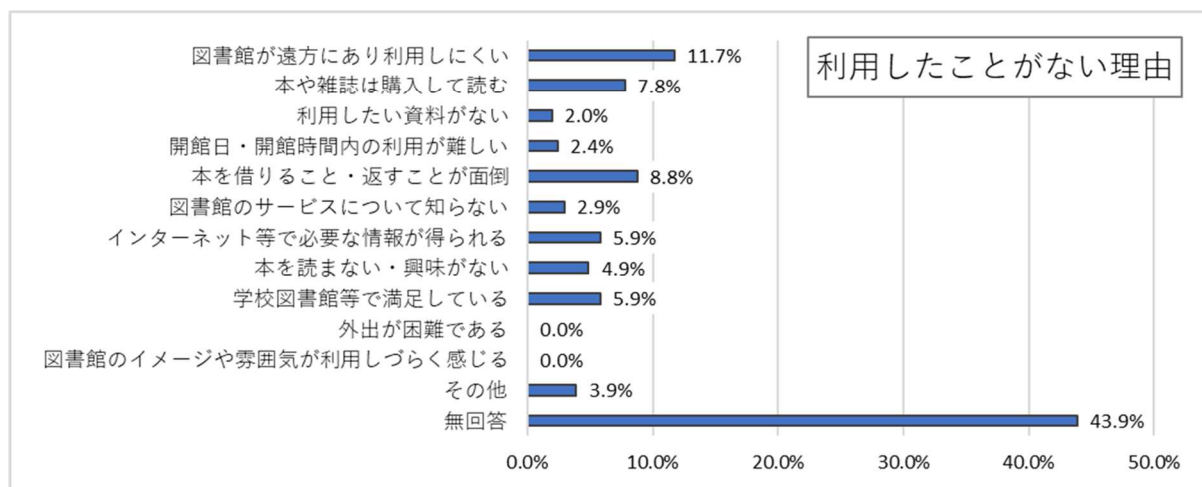
④ 交通手段 ((n)=580 ※図書館利用者のみ回答)



(問 2 -①) あなたは図書館を利用したことがありますか。



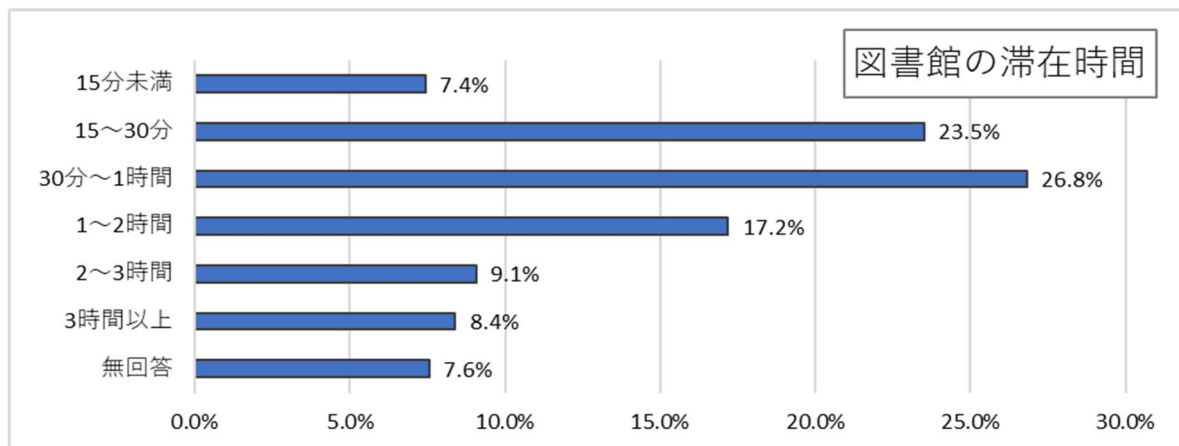
(問 2 -②) 図書館を利用したことがない理由について教えてください。 ((n)=56)



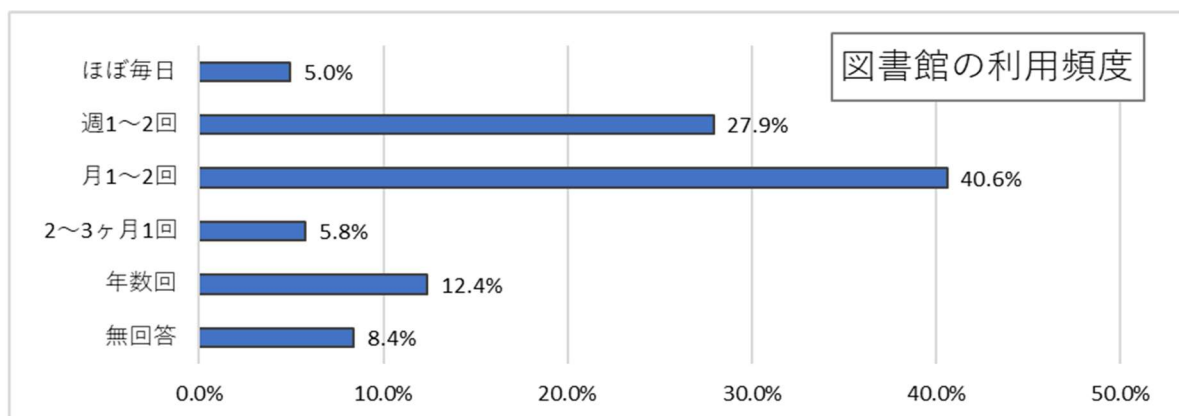
《その他の回答》

- ・ どこにあるのかわからない ・ 図書館へ行く時間がなかなかとれない
- ・ 図書館があることを知らなかった

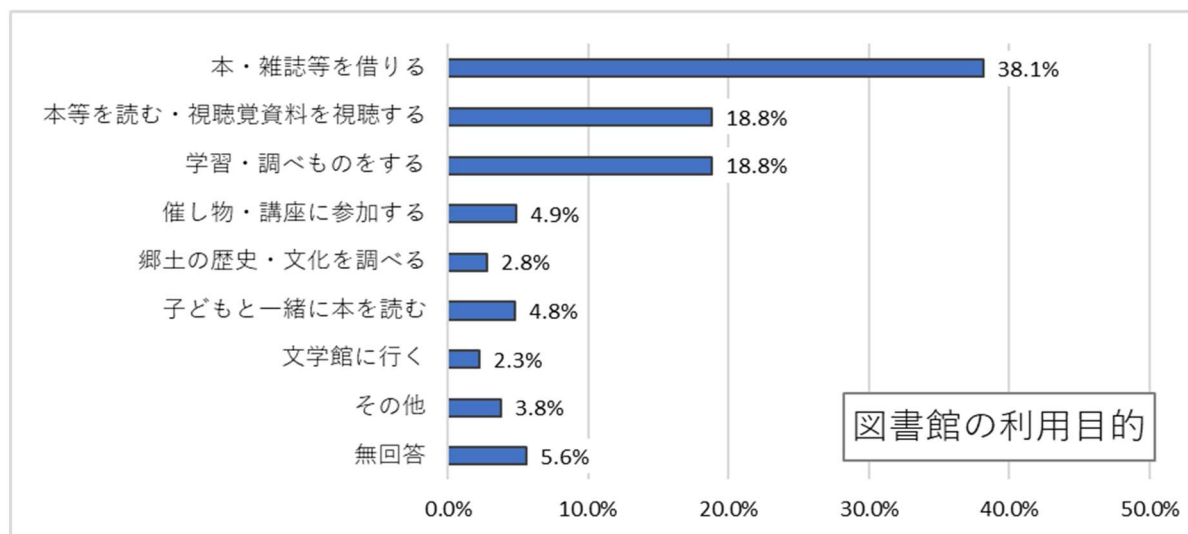
(問3) 図書館を利用した時の滞在時間について教えてください。((n)=671)



(問4) 図書館の利用頻度について教えてください。((n)=671)



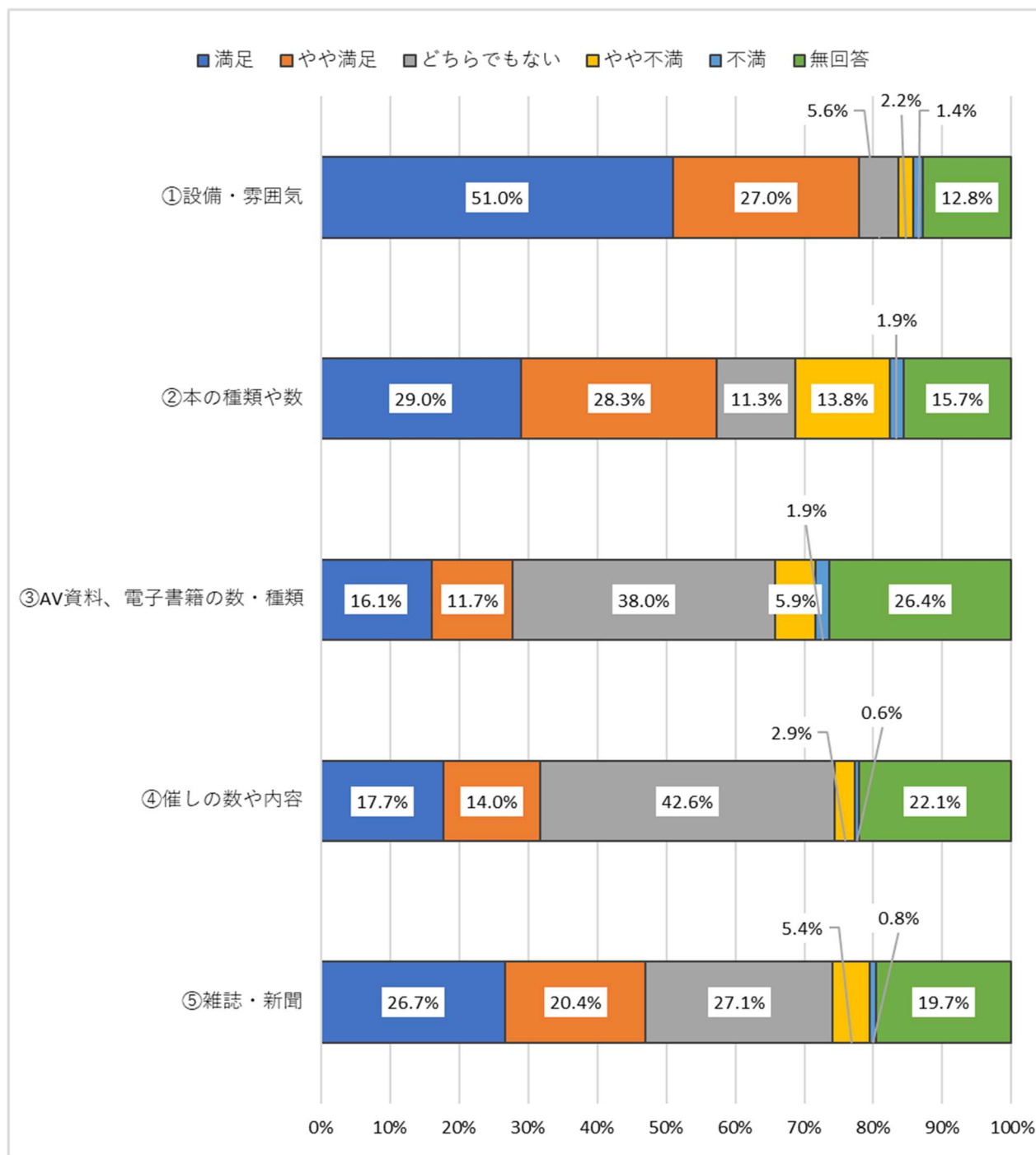
(問5) 図書館の利用目的について教えてください。((n)=671)



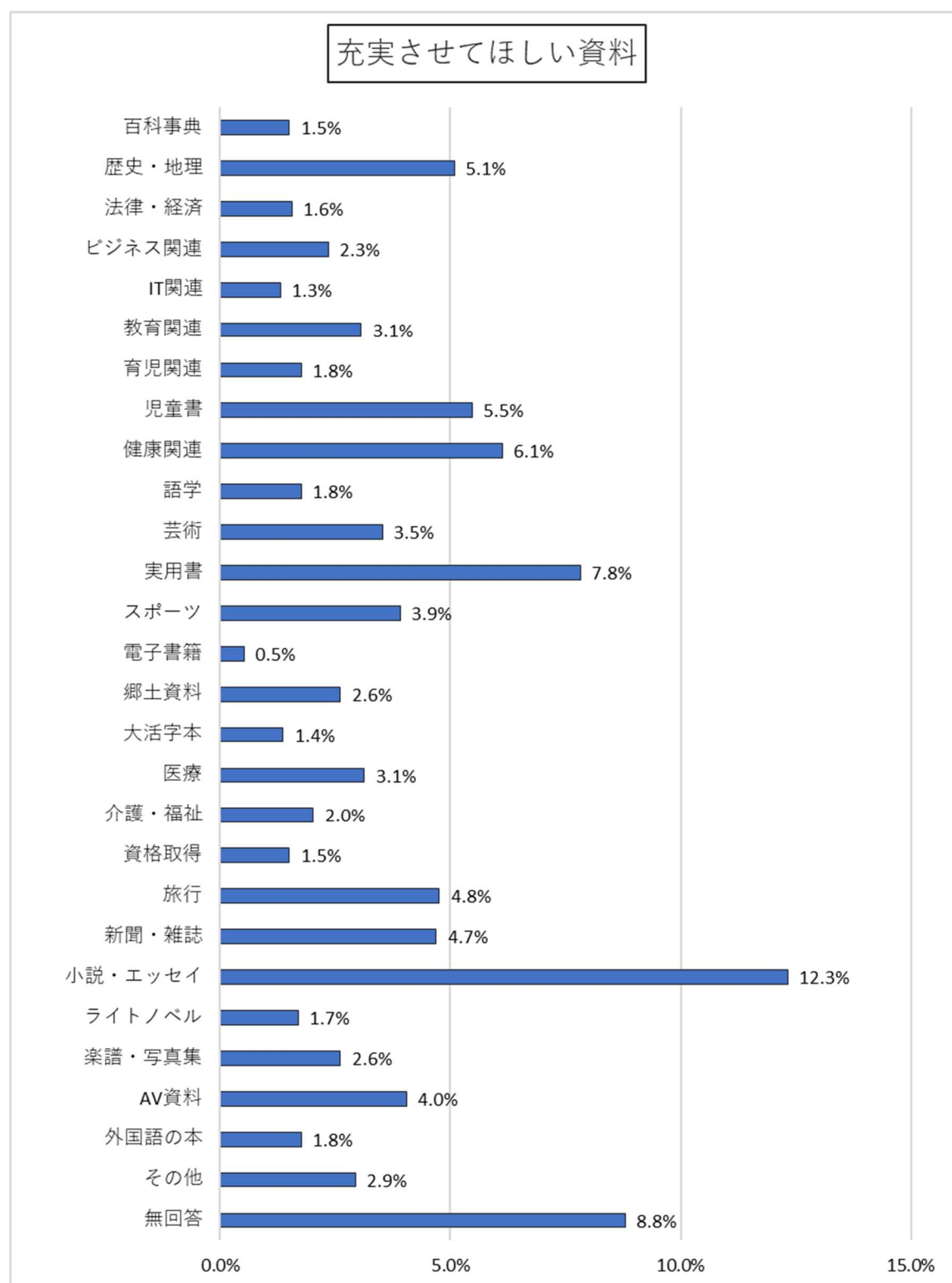
《その他の回答》

- ・仕事の空き時間に作業や業務をするため
- ・ボランティアの活動に参加するため
- ・部活動での使用
- ・休憩

(問6) 図書館を利用したときの満足度について教えてください。((n)=671)



(問7) 充実させてほしい図書などを教えてください。(複数回答) ((n)=671)

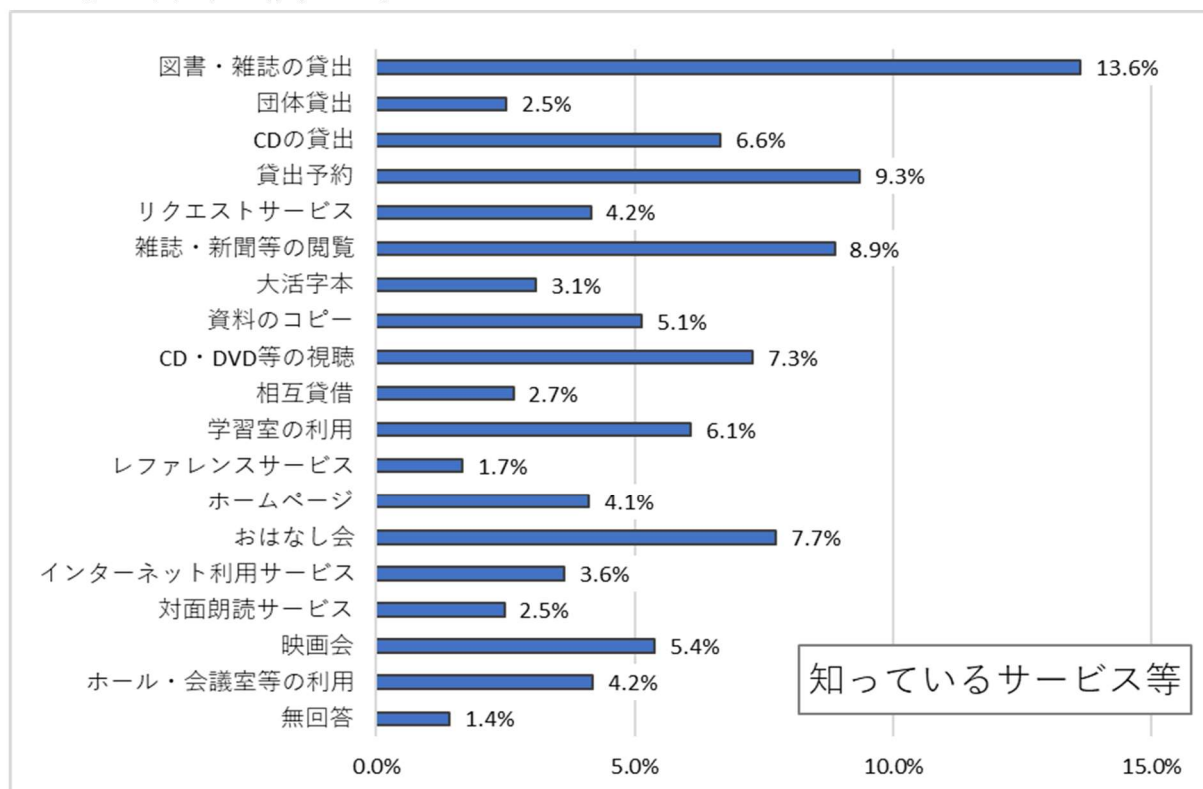


《その他の回答》

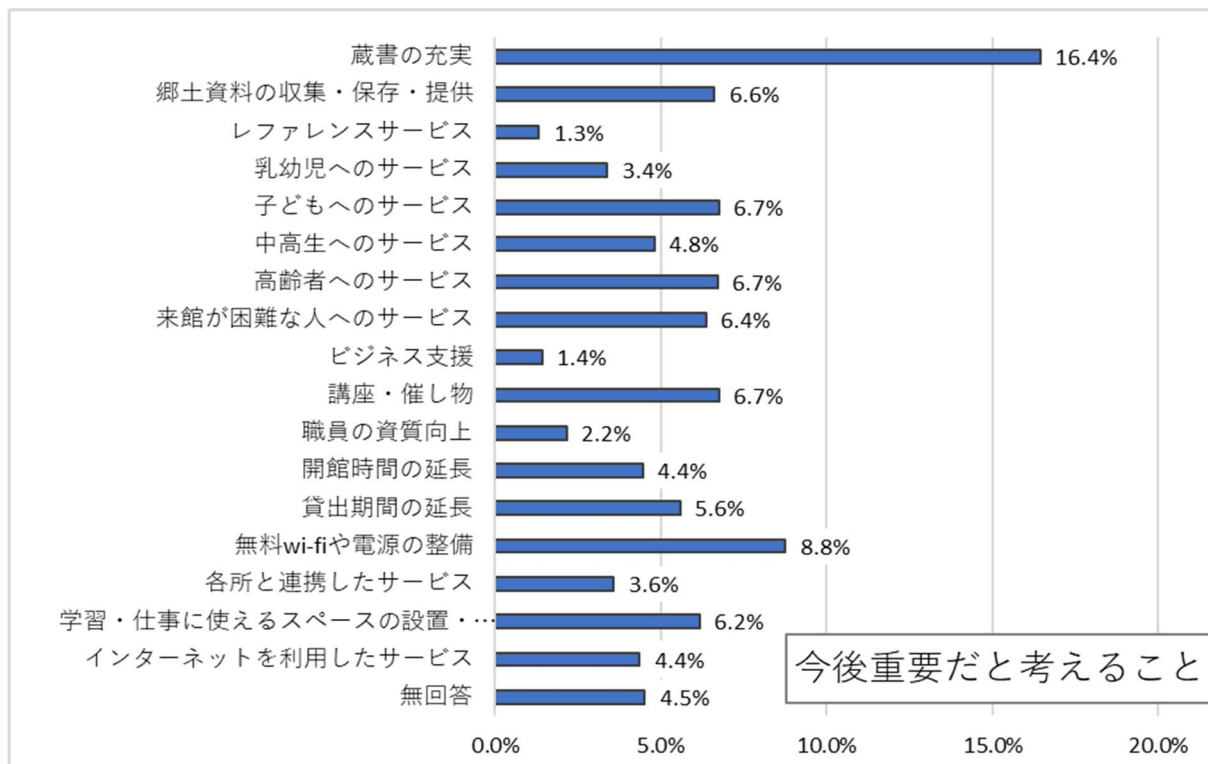
- ・ 動物関連 ・ IT関係 ・ 大人向けの紙芝居
- ・ 科学 ・ 国際関係 ・ 評論
- ・ アニメ系 ・ 国文学

(問8) 図書館で行っているサービスや資料等で知っているものを教えてください。

(複数回答) ((n)=671)



(問9) 図書館活動を充実させるため、または今後の利用のためにどのようなことが重要だと考えるか教えてください。(複数回答) ((n)=671)



4 第1期釧路市図書館基本計画と具体的施策の取組状況

	基本目標	中項番	具体施策	小項番	主な計画項目	取組状況
I	地域の情報拠点としての資料充実	1	高度情報化に対応した資料の整備	①	電子書籍等の導入検討	・他都市の導入情報の収集と内容の把握
				②	オンラインインデクサーの導入拡大	・下記の商用データベースの導入、及びレファレンス業務への活用 【導入実績】 日経テレコン21、DLaw.com（現行法規総覧代替）、北海道新聞記事検索、 官報情報検索サービス、Tool i ・釧路文学館開設に伴う収蔵品管理システム＜I. B. MUSEUM SaaS＞の導入 （契約先：早稲田システム開発株式会社）
				③	インターネットを始め、ICTを活用し、タブレット端末の増設を含む資料情報を提供するための環境整備	・館内インターネット無料端末の利用規則整備、及び利用サービスの提供 ・館内インターネット利用端末の増設（H23年度 5基） ※【実績】インターネット端末未利用 H23-H26年度累積 16,291件 H27-H30年度累積 11,305件 ・iPad導入に伴う機器保守サービスへの加入、フィリタリングソフトの導入（H25年度） ・館内無線LAN環境の整備（H25年度） ・iPadの設置、無償貸出の開始（H2年度 10基、新館移転より設置なし） ※【実績】iPad貸出 H25-H26年度累積 472件、H27-H29年度 603件
		2	ユニバーサルデザインを意識した資料の整備	①	文字が見えにくい利用者に対応する拡大読書機の導入	・H30年2月 新館開館に合わせて導入、H30年度 223回利用
				②	電子書籍等の導入検討とタブレット端末の活用	・（再掲）電子書籍の導入は他都市の導入情報の収集と内容把握 ・タブレット端末の活用はスマートフォンとの普及により、図書館での必要性が低下している
				③	耳からの読書を楽しむためのオーディオブックや朗読CD等の充実	・朗読CDの収集、提供 【資料数推移】 H19年度 3点 H26年度 69点 H30年度 307点 H26-H30年度増加点数 238点 ・朗読聴講機会提供に向けた市民朗読会の企画、運営 H21-H26年度 延べ6回、延べ参加者数364名 H27-H30年度 延べ11回、延べ参加者数434名

地域の情報拠点としての資料充実	2	ユニバーサルデザインを意識した資料の整備	④	大活字本の充実	・大活字資料の収集、提供 【資料数推移】 - H26年度 1,911点 H30年度 2,059点 - H26-H30年度増加点数 148点 ※【実績】貸出件数 H22-26 5,495件、H27-H30 13,842件
			⑤	気軽に利用できる視聴覚資料の整備	・上映、貸出許諾資料の収集、提供 【資料数推移】 - H26年度 490点 H30年度 943点 H26-H30年度増加点数 453点 ・定期上映会の開催 (H20-H24年度) 延べ開催回数 547回 延べ参加者数 8,947名 (H25-H30年度) 延べ開催回数 571回 延べ参加者数 9,234名
			⑥	高齢者に配慮したデータベース活用案内などの充実	・定期上映会のうち高齢者向け金曜上映会 (H27年度) 【H27年度金曜日実績】開催回数 38回 参加者数 493名
			①	市民の生涯学習を支援する資料の収集と情報の提供	・毎週、図書館において選定委員会を開催し、図書館としての蔵書構成と各図書館施設の市民ニーズとのバランスに配慮し、基準に基づいた資料選定を行い、市教委の承認を経て、資料発注を行っている ・資料購入点数 - 釧路市全館の購入点数 (H22-H26年度) 58,960点 (H27-H30年度) 49,603点 - 釧路市中央図書館 329,445点 西部地区図書館(コア鳥取) 58,924点 - 東部地区図書館(コア大空) 53,496点 中部地区図書館(コアかがやき) 58,242点 - 阿寒町公民館図書室 53,712点 音別町ふれあい図書館 31,895点 (H30年度)
	3	図書館として求められる資料構成の検討と整備	②	情報拠点としての図書館に求められる資料と、図書館未利用者を含めた市民のニーズとのバランスを考慮した資料収集	
			③	各館(室)の特性や地域性を活かした資料の収集と配置	
			④	時代のニーズに対応するための資料収集基準の検証と更改	
	4	蓄積された資料の活用	①	図書館利用マニュアルを作成するなどの積極的な活用方法の周知	・利用案内を各フロアに配置するとともに、施設見学者に配布し、図書館の概要を説明すること上手な利用を周知している
			②	分かりやすく情報を網羅した館内案内の作成	・H30年2月 新館開館に合わせて利用案内を作成
			③	閉架書庫の資料紹介やデータベース活用も含めた資料の案内機能強化	・メディア (自館ブログ、ローカルFM、NHK等) を活用したおすすめ図書の紹介 ・利用者参加型の紹介POPコーナーの設置 ・スタッフのオススメコーナーの設置 (H25年度～) ※【実績】貸出冊数 (H25-H26年度) 7,456点 (H27-H30年度) 18,348点 ・認知症、ビジネス支援に特化したコーナーの設置 (H30年度)

I	地域の情報拠点としての資料充実	4	蓄積された資料の活用	④	資料の展示機会拡大	・展示更新の定期化 (H20年度 ロビー：毎月 3階：4 半期毎) 【展示実施回数】 - H22年度 16回/H23年度 18回/H24年度 17回/H25年度 17回/H26年度 12回 - H27年度 ロビー 8回 (3F郷土資料室は常設展「原田康子、桜木紫乃」に変更) ・時機に合わせた特別展の開催 - 国際啄木学会連動展示、原田康子挽歌展、桜木紫乃直木賞受賞記念展 等 (H26年度以降) 釧路の魅力発見！～おすすめスポット紹介～、市立釧路図書館のあゆみ、釧路市中央図書館開館1周年記念展示「緋の河 桜木紫乃が描く釧路」等
				⑤	閉架書庫資料の閲覧機会拡大	・「閉架書庫探検会」の定例実施 (としょかんフェスタ期間) (H20-H25年度) 延べ参加者数 402名 (H26年度) 32名 (H27年度) 24名 ※H28年度以降は実施せず、図書館ミニツアーなどで書庫内を案内
				⑥	資料案内 (パスファインダー) の作成	・パスファインダーの新設、及び館内配布 【作成テーマ】「医療情報」、「就職」、「釧路湿原」、「幣舞橋」等 【作成件数】 H26年度 17件 H27年度 25件 H30年度 0件
II	地域資料の収集と保存	1	地域資料の収集と保存	①	地域資料の保存と利用を両立させるためのデジタル化の検討	・図書館所蔵の16mmフィルムのDVD化 全43点完了 (H30年度)
				②	釧路に関わる映画や漫画等に関する資料の収集	・郷土資料として収集 映画10作品 漫画166冊
				③	地域資料の収集方法の検討	・地域関連資料の随時購入、及び発刊時の寄贈依頼の実施 ・図書館資料整備基金運用益による村上文庫資料 (地場産業関連資料) の継続購入 (H20-H26年度) 延べ 163点 (H27-H30年度) 延べ 65点 ・故・鳥居省三氏蔵書の寄贈受入、及び関連コーナーの設置 【H21年度受入】受入点数 6,715点 ・貴重資料群 (永久保秀二郎関連図書) の目録整備、及び保存方法の改善 (防虫対策等)
	地域の歴史・文化の醸成と発信	2	地域の歴史・文化の発信	①	釧路に関わる映画や漫画等に関する情報発信	・釧路に関する資料展示を企画予定
				②	デジタル化した地域資料の積極的なWEB公開	・独自コンテンツ「釧路ゆかりの作家たち」作成、公開 【掲載作家】石川啄木、原田康子、桜木紫乃 等 計9名 ・旧釧路新聞見出し検索ページの設置 (H23年度緊急雇用創出事業) ・釧路文学館紹介ページ 作成、公開 (H29年度)
				③	地域資料の積極的な公開	・旧釧路新聞のデジタル化、及び館内公開 (H23年度緊急雇用創出事業) ・時機に合わせた特別展の開催 (再掲) - 国際啄木学会連動展示、原田康子挽歌展、桜木紫乃直木賞受賞記念展 等 ・「永久保秀二郎日記 (編刻)」 「アイヌ語雑録をひもとく」 デジタル化、ADEAC公開 (H27年度) ※H27年度総アクセス数 113,582回 H30年度総アクセス数 236,809回 ・釧路文学館 (H30年2月開設) での企画展示による資料の公開 (年4回)

II	地域の歴史・文化の醸成と発信			
	2	地域の歴史・文化の発信	④	地域の歴史や文化に関わる講座、講演会の開催
	3	アイヌ文化関連資料の収集・保存と情報発信	① ② ③	・年3回の郷土講座の開催 「マリモはどこからきたのか」、「作家中戸川吉二と釧路」、「誘致の時代—1955年前後」等 (H26年度以降)「道東 冬景色と動物たち」、「煌めく阿寒」、「アイヌ民族と自然のかかわり」、「北大通の記憶」、武四郎まつり「武四郎リレートーク」16講座と資料展示 等 ・郷土団体とタイアップした取組 「石川啄木—北畠立朴氏講演会」、「北大通りを振り返る」、「鉄道マニアの世界」等 (H26年度以降)「園類写真家 養士師 伊沢正名氏講演会」、「自然遺産と阿寒の世界」、「釧路の天然記念物」、「蝦夷地と江戸」、「キノコとともに〜伊沢正名の世界」等
	4	釧路出身者や在住者の活躍を伝える事業の展開	① ② ③	・図書館ホームページに「永久保秀二郎日誌」ほかデジタル資料を公開 H30年度総アクセス数236,809回 ・故 松本成美氏蔵書の寄贈受入、及び文庫の開設 ・アイヌ文化研究者 河野本道氏関連資料の寄贈受領 (H25年12月 133点) ・北道文庫の開設 約750点 ・アイヌ文化懇話会等とのタイアップ事業の運営 【実績】アイヌ文様切り絵講座、刺繍講座等 ・H28年度 講演会「アイヌ民族と自然のかかわり」(協力：国立アイヌ民族博物館設立準備室) ・文学館で紹介したい釧路出身者の作品をホームページで紹介する ・郷土行政資料室における常設展示「釧路ゆかりの作家たち」、常設展「原田康子、桜木紫乃」 ・釧路出身の漫画家 諏訪みどりさん寄贈図書の展示 ・桜木紫乃直木賞受賞記念展示 ほか ・釧路文学館の開設 (H30年2月) ・原田康子関連資料展示 ・桜木紫乃関連資料展示 ※新館移転後より釧路文学館常設展示「釧路ゆかりの作家たち」

Ⅲ	図 書 館 の 利 用 機 会 拡 大	1	図 書 館 の 広 報 活 動 と 情 報 発 信	①	(再掲) 図書館利用マニュアルを作成するなどの積極的な活用方法の周知	・ 利用案内を各フロアに配置するとともに、施設見学者に配布し、図書館の概要を説明することで、上手な利用を周知している
				②	図書館をテーマとした講演会や図書館活動報告会等の開催検討	・ 図書館施設見学、視察等の積極的な受け入れ (H30年度) 幼、小、中学校 36件 936名 成人団体 46件 1,024名
				③	図書館の外で活動を展開し、地域に情報を発信する仕組みの検討	・ 図書館に関する講演の実施、図書館バスの各種イベントへの派遣
				④	図書館を利用したことのない市民への広報活動充実	・ 関連施設等への「図書館だより」の設置
				⑤	メールやSNS等を活用した図書館情報案内	・ ブログ、facebook公式ページの設置、及び新刊情報、イベント情報等の随時発信
				⑥	新聞等のマスメディアを活用した情報提供	・ 主催事業に関する取材設置のほか、連載を通じた情報発信 【実績】 H20-H25年度 延べ記事掲載件数 416件 H26-H30年度 512件 釧路新聞「港の見える丘から」 年8回 FMくしろ「丘の上からこんにちは」 毎週1回 ※H30年2月 毎月1回「北大通からこんにちは」に変更 NHK「つながる@ライブラリー」 隔月1回
				⑦	学校、町内会、老人クラブ等の組織を活用した広報活動	・ 中高生向け図書紹介「ティーンズ通信」の発行と配布 (H27年度より図書館だよりと統合して配布) ・ 校長会、全校訪問を通じた「学校協力メニュー」の案内
				⑧	スーパーなど生活に密着した民間商業施設等への行事案内等の配布	・ 市内ビジネスホテル等への利用案内の設置、配布 ・ 転入者対象の利用案内、登録用紙の配布 (戸籍住民課) ・ 長期滞在者への利用、登録案内の配布 (市民協働推進課) ・ 主催事業宣材の商業施設等 (スーパー、郵便局等) への配布、掲示依頼
				⑨	図書館利用機会拡大強化週間の設定	・ 読書週間 (10/27～11/9) に合わせたイベント群の開催 開催頻度 毎年1回 イベント名「としよかんフェスタ」 【実績】 (H20-H25年度) 延べ参加者数 6,433名 (H26-H30年度) 延べ参加者数 3,728名
				⑩	図書館見学会の開催	【実績】 ・ 図書館見学会 ツアー 参加者数 H20年度 14名 H21年度 15名 ・ 図書館ミニツアー (H22-H25年度) 延べ参加者数 104名 (H26-H30年度) 延べ参加者数 80名 ・ H30年度 図書館見学、視察 (幼、小、中) 36件 936名 (成人団体) 46件 1,024名

Ⅲ	Ⅰ	図書館の広報活動と情報発信	⑪	釧路に関する情報の玄関口となるようなホームページの整備	・ホームページの大規模改修（H20年度、H22年度）以降、随時更新実施 【主な新設コンテンツ】 「釧路ゆかりの作家たち」、「松浦武四郎」、「アイヌ文様」、「雑誌、新聞所蔵状況」、「アクセスマップ」、「図書館バス利用案内」、「各種統計資料」、「ビジネス支援サービス案内」「釧路文学館」等
			⑫	ホームページや施設内掲示を利用した釧路に関する情報発信	【ホームページ】「釧路ゆかりの作家たち」、「アイヌ文様」等 【掲示】「釧路情報発信コーナー」の設置、更新 【展示】「釧路のまちなみ写真展」「懐かしの釧路 伝えたい「蔵」の記憶」 【メディア】FMくしろ、釧路新聞、NHK 定期放送、連載
Ⅱ	Ⅰ	図書館の広報活動と情報発信	⑬	図書館利用体験者からの情報発信の促進	・facebookページを利用した情報の発信 【実績】H25-26年度掲載件数 291件
			①	図書館で行われている障がい者サービス等について周知促進	・見学会等で障がい者サービスをPR
	Ⅱ	すべての市民へのサービス	②	児童・青少年に対応した読み聞かせやブックトーク、読書案内等の充実	・学校ブックフェスティバルの機会に絵本の読み聞かせ、朗読の実施 ・学校へ出向いての読み聞かせ、ブックトークの実施
			③	高齢者の図書館利用の際の介助等のサービス実施	・1階エレベーター横にインターフォン設置、高齢者、障がい者の要求に応じ対応
			④	点字図書館との役割分担を考慮した目の不自由な方に対応する朗読サービス等の実施	・H30年2月より対面朗読サービス開始 - H30年度 91件利用
			⑤	耳の不自由な方への筆談等によるコミュニケーションの確保	・カウンターにハンディホワイトボードを設置、筆談に対応
			⑥	乳幼児とその保護者に対する読み聞かせの支援、講座等の実施	・4階おはなし会 毎週3回 - H30年度 144回 1,369名参加
			⑦	外国語による利用案内の作成、頒布	・英語版利用案内を用意し、各フロアカウンターにて配布中 ・音声対応可能な簡易翻訳機（多言語対応可）を導入
	Ⅲ	図書館の読書活動と情報発信	⑧	ライフステージやそれぞれの状況に応じたきめ細かいサービスの提供	・子育て関係資料の児童室（新館4階フロア）設置 ・健康関連資料をわかりやすく配架し、提供 ・各月の展示を通じた資料の紹介 ・「対面朗読サービス」の開始（H29年度） ・拡大読書器、文章読み上げソフトの導入（H29年度）

図 書 館 の 利 用 機 会 拡 大				
2	すべての市民へのサービス	⑨	誰もが使いやすい図書館の利用方法等の工夫	・利用要件の見直しによる利便性の向上 H20年度 休館日、開館時間の見直し 休 館 日 祝日開館の完全実施 開館時間 2階 18時30分⇒19時30分 児童、郷土 17時⇒19時30分 複写料金の値下げ A4 20円/枚⇒10円/枚 H24年度 予約点数、CD貸出点数の変更 予約 5点⇒10点 CD貸出点数 3点⇒5点
				・図書館への来館困難者に対する在宅利用可能なサービスの検討
				・図書館バスの機動性を活用したサービスの展開
				・高齢者等、来館困難者に対する宅配サービスの検討継続
3	市全域へのサービス	①	図書館への来館困難者に対する在宅利用可能なサービスの検討	・図書館バスサービスの運営 H20-H25年度 延べ貸出者数 46,038人 貸出点数 300,852点 H26-H30年度 延べ貸出者数 21,986人 貸出点数 146,699点 ・H24年度 図書館バス車輻更新（住民生活に光をそそぐ交付金） ・バスステーション「鉦路市生涯学習センター」追加（H29年度）
				・高齢者等、来館困難者に対する宅配サービスの検討継続
				・毎日の運搬車の運行により、迅速な予約本、返却本の移動を実現している ・調べ学習コンクールなど中央館、地区館で展示する事業を実施 ・「民話をさく会」中央館、地区館で開催
				・域内団体とのタイアップ事業の運営 【実施例】（ ）内はタイアップ先 H22年度「原田康子没後1年事業」（鉦路文学団体協議会） H23年度「石川啄木没後100年記念事業」（鉦路啄木会） H25年度「作家 中戸川吉二と鉦路（鉦路文学団体協議会） H27年度「鉦路が誇る文化遺産デジタル化公開報告会&記念国際シンポジウム」（阿寒湖温泉アイヌ文化推進実行委員会） H30年度「武四郎まつりinくしろ」資料展示 1,277名 武四郎リレートーク16講座 610名
4	地域性を活かした図書館活動の研究と展開	②	地域の特色を活かした行事開催の推進	・中央館及び地区3館で「調べ学習コンクール作品巡回展」を実施（H30年度）
				・市内図書館（室）での活動テーマの共有と館（室）ごとの特色ある活動の推進
				・各種事業開催による新規利用層の掘り起し 【実績】H20-H25年度 事業件数 211本 延べ参加者数 27,914人 H26-H30年度 事業件数 179本 延べ参加者数 26,011人
				・「くしろ古本市」に代わる「本の交換市（としょかんフェスタ関連事業）」の開催（H30年度）
5	図書館行事や催しものの充実	①	図書館利用のきっかけとなる催しものの充実	
				・利用者ニーズに対応した行事の展開

IV	課題解決型図書館機能の充実	1	レファレンス機能の強化	①	レファレンスサービスの周知	レファレンス専用カウンターの設置による、市民への周知
				②	情報拠点としての図書館に求められる資料の収集と活用	・レファレンス事例を参考にした資料収集 ・レファレンス専用カウンターを配置 (H29年度)
		2	市民と地域の課題解決に役立つサービスの充実	③	専門機関と連携した事例に応じた適切なサービス	・国内図書館施設と連携した随時対応 国立国会図書館、北海道立図書館、各大学機関ほか
				④	メール対応によるレファレンスサービス	・公開アドレスによるレファレンス受付、回答サービスの実施
				①	ビジネス支援サービスの展開	・k-Bizセンター長、公立大学学長による推薦本のコーナー設置
				②	(再掲) 市民の生涯学習を支援する資料の収集と情報の提供	・毎週、図書館において選定委員会を開催し、図書館としての蔵書構成と各図書館施設の市民ニーズとのバランスに配慮し、基準に基づいた資料選定を行い、市教委の承認を経て資料発注を行っている
				③	美術館、博物館等の社会教育施設と連携した図書館資料の紹介や資料をベースとした講座の開催	・芸術館、美術館、博物館と連携した関連展示コーナーの設置更新 ・博物館、こども遊学館、図書館合同イベント「なつやすみ自由研究屋台村」開催 H27-H30年度延べ入場者 1,446人
				④	読み聞かせなど、子どもの読書活動の推進と読書活動を通じた子育て支援の実施	・7か月児育児相談会場における赤ちゃん絵本ガイドの配布 ・育児サークルへの読み聞かせ等への職員派遣
				⑤	子育て支援関係機関等と連携した子育てに役立つ図書館利用の提案	・古本市による寄贈図書を活用し、幼稚園、保育園、子育て支援センターや小学校を対象にした図書巡回「りぼんバック35」を展開 (H26年度購入) 295冊 (H27年度購入) 453冊 ※現在りぼんバックの資料は解体し、図書館バスの巡回文庫等として使用 H30年度 保育園、幼稚園、子育て支援センター等図書館バス巡回 23か所 10,840冊貸出
				⑥	関係機関と連携した講座開催等による市民の仕事や生活に役立つ情報提供	・H26年度「調べる学習体験講座 石炭の秘密を調べよう！」連携：釧路コーマルメイン株式会社 参加者20名 ・H27年度「調べる学習体験講座 海上保安庁を調べよう！」連携：釧路海上保安庁 参加者10名 ・釧路文学団体協議会等との連携による文学関連講座、講演会の開催 (H29-H30年度)

IV	課題解決型図書館機能の充実			
	2	市民と地域の課題解決に役立つサービスの充実	⑦	関係機関等と連携した就業に関する情報の提供
			⑧	退職後や新たな生活を始めるために役立つ情報の提供
	3	図書館ネットワークを活かしたサービスの向上	①	釧路市内の大学図書館等との連携強化と協力して実施しているサービスの周知
			②	市内図書館施設間の連携による釧路市の図書館全体としてのサービスの充実
			③	北海道立図書館などの他の図書館との連携・協力の促進
	4	図書館を活用する力の向上支援	①	学校と連携した図書館利用教育の拡大
・ジョブカフェ、若者サポーターセッションと連携した就労支援講座の開催（H24-H25年度）延べ5回開催 延べ参加者数56名 ・未就労者に対するボランティア活動受入（H25年度 8人、H26年度 0人、H27年度 0人） ・職場見学会およびボランティア説明会（H25年度 20人、H26年度 15人） ・k-Bizセンター長及び公立大学長の推薦図書紹介コーナー設置（H30年度 ビジネス支援） ・現在就労支援講座は開講していないが、ボランティア活動の受入れや職場見学については積極的に受入				
・4～5月期の利用案内講座の開催 H20-H25年度 延べ33回開催 延べ参加者数133名				
・北海道教育大学釧路校、釧路公立大学とも相互貸借を実施しており、利用者への周知を図っている。釧路短期大学とは学生の実習受け入れをはじめ、市民向け、子ども向け事業の図書館実施等で連携を図っている				
・他館新規採用者に対する導入研修の実施				
・全国の図書館と連携した相互貸借サービスの運用 H20-H24年度 延べ貸出数 1,316件 2,450点 延べ借受数 6,224件 9,416点 H25-H26年度 延べ貸出数 595件 1,184点 延べ借受数 1,910件 3,303点 H27-H30年度 延べ貸出数 1,181件 2,414点 延べ借受数 3,369件 6,333点 ・道外図書館、市内自然観光施設と連携した観光展示の実施 H23年度 「TRC3館合同展示」（釧路、新宿、鹿児島） 「全国ラマー展」（釧路ほか4館） H25年度 「釧路湿原を知らう」（東京 江戸川区） H26年度 「英語絵本展」（協力：北広島市図書館） H27年度 「夏休み名所探訪 霧の街 釧路」（東京 新宿区立戸山図書館） 「英語絵本展」（協力：北広島市図書館） 「小説家 小樽山博展（釧路市連町50周年事業協賛）」 （協力：苫小牧市中央図書館） ・道立図書館職員による館内研修の実施 H21-H24年度 延べ3回開催 「レファレンス演習」ほか H27年度 道立図書館専門研修「デジタルアークカイブズ」 ・国立国会図書館レファレンス共同データベースへの協力 H26年度提供件数 0件 H27年度提供件数 148件 総登録件数 305件 H28-H30年度提供件数 87件 総登録件数 315件				
・幼稚園から中学生まで 社会科見学の積極的な受け入れ H30年度 36件 936名				

Ⅳ	課題解決型図書館機能の充実	4	図書館を活用する力の向上支援	②	図書館活用力の向上に寄与する企画力のあるボランティアの育成強化	・ボランティア養成講座の年次開催 【実績】 H20-H25年度開催回数 13回 参加者数135名 H26-H30年度開催回数 32回 参加者数115名 ・ボランティア交流会（年1回）、研修会（年2回）の開催
				③	図書館利用講座の開催	・ライトユウザー向け利用ガイダンスとしての「図書館見学ミニツアー」の実施（H22-H25年度） 延べ参加者数 104名 （H26年度）参加者数 23名（H27年度）参加者数 20名（H28年度）参加者数 15名（H29年度）未実施（H30年度）参加者数 22名
				④	市民が利用しやすい資料の分類、配置の工夫	・館内フロア案内図の更新（H20年度） ・ピクトグラムを導入した児童室サインの更新（H24年度） ・フロアサイン、避難経路サインの作成更新（随時） 資料検索機による資料地図の導入（H30年度）
				①	（再掲）学校と連携した図書館利用教育の拡大	・幼稚園から中学生まで、社会科見学の積極的な受け入れ H30年度 36件 936名
				②	図書資料の団体貸出	・（再掲）図書館所蔵の16mmフィルムのDVD化 全43点完了（H30年度）
Ⅴ	学校や関係機関との連携	1	学校図書館との連携	③	図書館員による読み聞かせやブックトークなどの読書支援活動	・学校支援サービスメニュー（読み聞かせ、ブックトーク、学校図書館運営相談等）の策定、及び校長会、全校訪問等を通じた利用周知 【学校支援サービス延べ利用数H20-H25年度】派遣件数63件 対象者3046人 【H26年度学校支援サービス利用数】派遣件数40件 対象者 1236人 【H27年度学校支援サービス利用数】派遣件数15件 対象者 934人 ・H30年度 読書活動サポーターセット 3セット 1,665冊導入 8校 4,429冊貸出 ・学校図書館連携事業担当 H30年度 2名採用
				④	学校図書館整備の支援	・学校支援サービスメニューに基づく運営相談、及び整備支援 【選書支援】光陽小学校、清明小学校 【電算化支援】美原小学校、光陽小学校 【整備支援】教育大附属小学校、城山小学校、湖畔小学校、鶴野小学校
				⑤	情報活用のための利用案内サービス	・iPad活用講座 【実績】 iPad活用講座（H26年度）回数 2回 参加者 13名（H27年度以降）未実施 ※但し屋台村などでiPadを使用した絵本作成の講座を開催
		2	地域の教育機関との連携	①	地域の高等教育機関との協働事業拡大	・釧路工業高等専門学校との団体貸出の実施と市民向け講座の開催
				②	地域の図書館相互のネットワークの活用	・釧路工業高等専門学校との相互協力協定の締結（H20年度） ・市内図書館（短大、公立大、高専、教育大）との協働事業「ビブリオバトル」の運営（H25年度）

V	学 校 や 関 係 機 関 と の 連 携	2	地 域 の 教 育 機 関 と の 連 携	③	レファレンスに対するレフェラルサービス体制の整備	・市内専門家、機関とのレファレンス事例の共有、相互協力のプラットフォームとしての「くしろレファレンスネットワーク」の構築、運用
				①	関係機関、団体との連携と情報交換の実施	・管内図書館関係者勉強会の設置、運営（H25年度 年4回開催） ・博物館、美術館、こども遊学館との合同研修の実施 H24年度 「水濡れ図書の救済手法」 ・市地域学校協働本部との連携事業実施及び研修会参加（H30年度）
				②	関係機関、団体等が情報発信するパンフレット等の収集と提供	・市内文化施設情報集約と公開 H20年度「くしろ情報案内」の設置（毎月更新）
				③	図書館資料の利用と連動した講演会などの実施	・資料展示と講演会のリンク開催 【作家講演会】 桜木紫乃、高山美香 ほか 【シンポジウム等】 石川啄木、中戸川吉二、原田康子 ほか
VI	人 の 成 長 と つ な が り を 育 む 図 書 館 活 動	1	人 と 人 を つ な ぐ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 空 間 と し て の 図 書 館	①	市民が必要とする学びの支援	・大小学習室を市民の自主学習の場として提供（H29年度9月まで） ・個人、グループ各学習室設置（H29年度2月～）
				②	職員の対応はもとより、展示や掲示等を工夫した温かな空間づくり	・研修運営による接遇の向上 「接遇基礎研修」、「ビジネスマナー講座」、「くれーむ対応ワークショップ」、「認知症サポート養成講座」ほか ・館内サイン委員会によるサインの刷新、及び随時更新
				③	ボランティアによる親しみやすい図書館の利 用案内	・配架等フロアワークボランティアに図書館利用案内の講座の実施
				④	図書館利用を通じて仲間づくり、居場所づくりができるような事業開催	・実行委員会形式による「くしろ古本市」の運営 ・市内授産施設、就労支援施設による館内物販の受入
				①	子どもの読書活動を推進するための計画づくりと実践活動の展開	・（再掲）学校に出向いての読み聞かせ、ブックトークの開催
				②	市民の読書活動を推進するための講演会等の開催	・（再掲）図書館に関する講演の実施、各種イベントへの図書館バスの派遣
		2	読書推進センターとしての図書館活動	③	読書団体等の育成と支援	・市内読書団体の設立支援、及び活動協力 【団体名】 4 ours／くしろブックシェアリング ／NP0読書普及協会／日本近代文学会北海道支部 ・既存読書団体とのタイアップ事業の運営 【事業例】 「作家 土井信光朗路講演会」「ミニ朗読会 郷土に縁のある作家たち」ほか

人 の 成 長 と つ な が り を 育 む 図 書 館 活 動				
2	読書推進センターとしての図書館活動	④	子どもと本を結ぶ活動の充実	・「くしろ図書館を使った調べる学習コンクール」の運営を通じて子どもの図書館活用の促進、活用成果の発表 ・「学校ブックフェスティバル」の実施（H28-H30年度）累計実施校 小 12校 中 3校
		⑤	子どもの読書活動を推進するための関係団体との協力	・市内読書関連ボランティア交流会の開催支援（H20-H25年度）延べ6回開催 延べ参加者数 271人（H26-H30年度）延べ6回開催 延べ参加者数 294人 ・おはなしネットばんばんとのタイアップ事業の運営 【事業例】「手づくり絵本教室」、「児童文学者・村中李衣さん講演会」、「小寺卓也氏 写真絵本作りワークショップ」、「冬のおはなし会」 ・地域域学校協働本部との連携・協働事業（H30年度） 【事業例】「学校ブックフェスティバル（再掲）」、「調べ学習コンクール（再掲）」他多数
3	市民との協働による図書館活動の展開			・ボランティア養成講座の開催 【実績】H20-H25年度 延べ13回開催 延べ受講者数 184名 内登録者数135名 ・活動領域の拡大 【新設メニュー】図書装備、館外緑化作業 ・活動の受入及び支援 ・H30年度 朗読ボランティアの新設 【実績】H30年度 延べ活動者数 1,518名
		②	市民の文化活動を育む協働企画事業の開催	・各種市内団体との協働企画事業の開催（ ）内は共催者等 「シンポジウム～釧路湿原の長谷川光二」（釧路文学団体協議会ほか）、「バケツ稲育成事業」（釧路稲を育てる会）、「エトピリカまつり」（環境省釧路自然環境事務所）、「たのしい釧路のきこのウォッチング」（釧路短期大学）ほか 【H26年度以降】伊沢正名氏講演会（釧路専門学校、釧路キノコの会）、シンポジウム「発熱する地球 私たちは今」（釧路専門学校、公益財団法人北海道環境財団）、釧路市運町50周年記念事業協賛「小説家 小増山博展」（釧路市連合町内会）ほか
		③	市民の生涯学習の成果を活かした図書館活動の実施	・サークル等と連携した成果発表の場としての講演会等の運営 【事業例】きのこ、阿寒、郷土関係3件程度
		④	寄贈本の受入れ方法のほか、市民の運営参加や協働手法の検討	・市民ボランティア等によるくしろ古本市の開催 【実績】H21-H25年度 延べ5回開催 延べ来場者 11,700人、売上計 2,494,197円、売上による市内図書寄贈 1,526冊 - H26-H29年度 延べ4回開催 延べ来場者 13,650人、売上計 2,056,496円、売上による市内図書寄贈 1,179冊 ※H30年度は運営体制の整備と方針検討に十分な時間が必要と判断されたため未実施

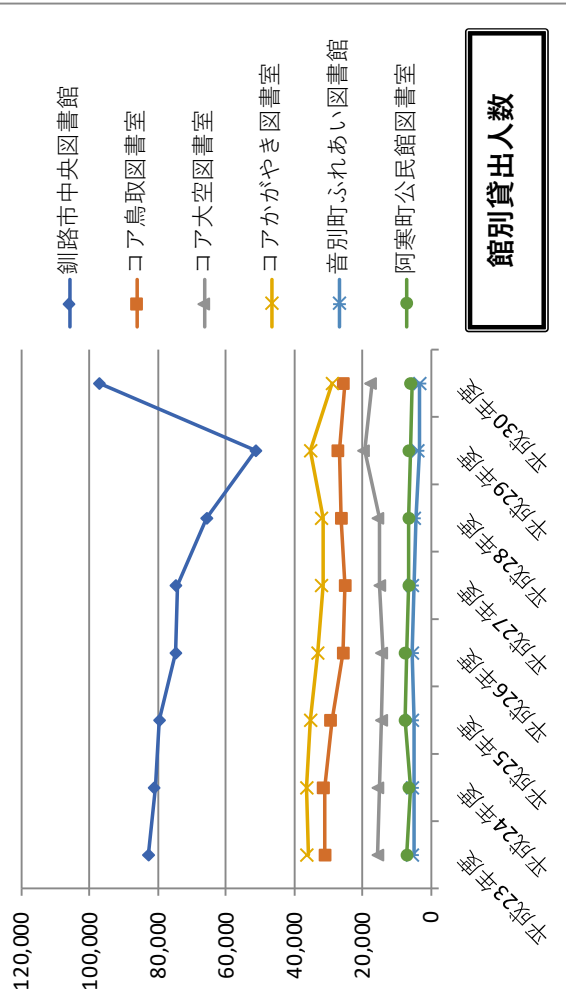
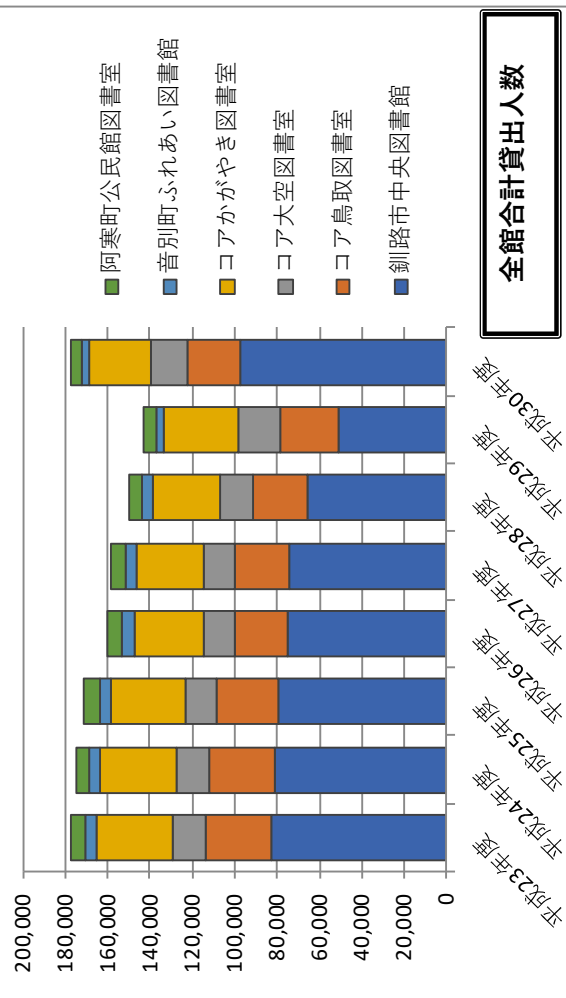
人 の 成 長 と つ な が り を 育 む 図 書 館 活 動	4	「成長する図書館」の仕組みづくり	①	図書館運営に関して市民意見を集め、反映させる仕組みの検討と実施	・館内ご意見箱の設置、運用 【実績】(H20-H25年度)延べ投函数 387件 (H26年度)投函数 80件 (H27年度)投函数 50件
			②	基本計画（Plan）に基づいた事業を実施（Do）、点検（Check）によるさらなる事業の創造（Action）を促進	・各計画進捗状況についてのセルフモニタリング、及び評価、検証結果の翌年事業計画への反映 ・「鉶路市図書館基本計画」中間見直しの実施（H27年度）
	5	地域の図書資源の共有と活用	①	くしろ古本市や古本交換市など、図書を媒介とした市民交流事業の開催	・（再掲）市民ボランティア等によるくしろ古本市の開催（H21-H29年度） ※詳細は前掲のとおり
			②	寄贈図書の積極的な受入と活用	・寄贈本箱の常設、運用（H24年度～） 【実績】H25年2月-H25年12月 延べ受付冊数 17,686冊 H26年度 5,925冊、H27年度 7,136冊 ・寄贈処理の整備、及び寄贈希望者への随時対応 【実績】H20-H25年度 延べ寄贈登録数 30,371冊 H26年度 3,202冊、H27年度 3,137冊
	6	地域の活性化に役立つ図書館	①	地域活動団体や施設との協働事業を促進し、各種事業に図書館が拠点の一つとして参加するなどの事業展開	・「北大通mini商店街」「北大通の記憶」講演会など地域の団体と連携し、地域を盛り上げる活動を実施
			②	長期滞在者が図書館を有効活用できる仕組みの提案	・長期滞在者が気持ちよく利用できるように、利用者カードの作成や各種利用の促進を図っている
			③	市地域の産業について知ってもらう展示や事業の展開	・村上文庫をはじめ市の基幹産業の展示を企画検討 ・大学研究者による太平洋炭鉱資料の活用
			④	市内のイベントと連動した図書館行事の開催	・国際啄木学会タイアップ展示の開催（H25年度）、「移動図書館車PR活動」（H27年度）、「くしろショールームドローギャラリー」「まちなかキャンドルロード実行委員」と連携した「としよかんフェスタ」の開催（H30年度）
			⑤	鉶路市の情報ポータルサイトとしての機能強化	・web媒体（ホームページ、ブログ、facebook）充実による情報発信力の向上

Ⅶ	図書館施設と運営体制の充実						・市内検討会議の設置 (H25年度) ・北大通へ移転、釧路市中央図書館及び釧路文学館開館 (H30年2月) ・ＩＣタグシステム導入による資料管理の効率化
	1	新図書館整備の推進					
	2	市内図書館関係施設の運営体制の充実					・市内３つのコミュニティセンター図書室を市立図書館分館と位置づけ、指定管理者による一元管理を開始 (H28年度以降)

5 釧路市の図書館における貸出人数の推移

年 度	釧路市中央図書館	コア鳥取図書室	コア大空図書室	コアかがやき図書室	音別町ふれあい図書館	阿寒町公民館図書室	全館合計
平成19年度	65,772	27,523	15,758	39,649	5,037	6,162	159,901
平成20年度	74,488	28,819	15,295	37,891	5,338	6,606	168,437
平成21年度	79,357	28,919	15,100	37,060	4,939	6,782	172,157
平成22年度	80,985	31,334	14,988	37,582	5,019	7,311	177,219
平成23年度	82,763	30,943	15,619	36,169	5,144	6,988	177,626
平成24年度	80,831	31,166	15,212	36,366	5,106	6,224	174,905
平成25年度	79,460	29,228	14,473	35,301	5,207	7,517	171,186
平成26年度	74,689	25,646	14,262	33,017	5,347	7,158	160,119
平成27年度	74,535	25,074	15,127	31,738	5,095	6,600	158,169
平成28年度	65,601	26,183	15,151	31,928	4,533	6,609	150,005
平成29年度	51,269	27,091	19,576	35,148	3,641	6,170	142,895
平成30年度	97,068	25,338	17,307	28,829	3,252	5,634	177,428

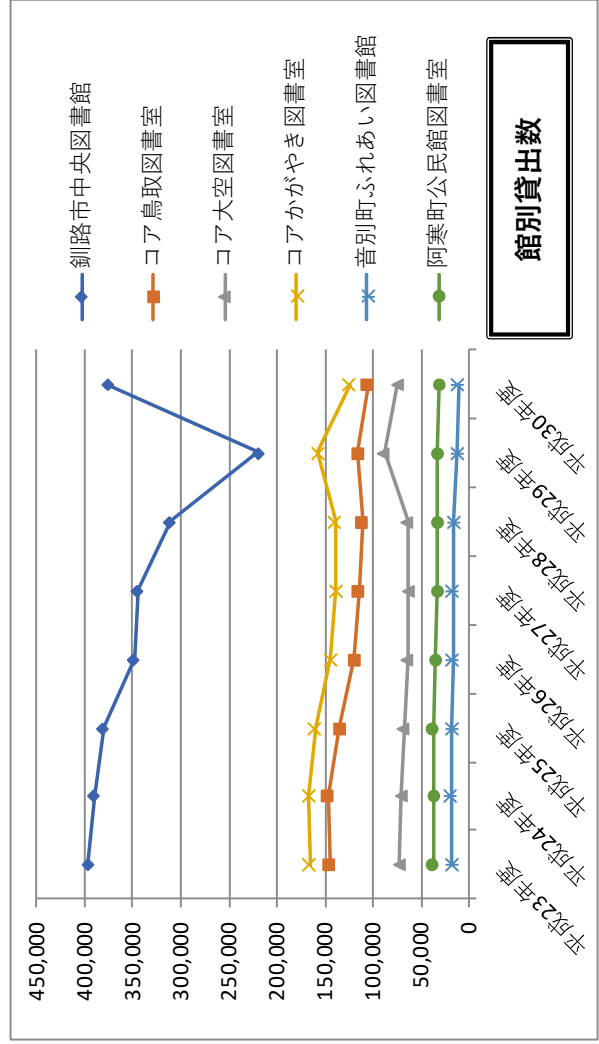
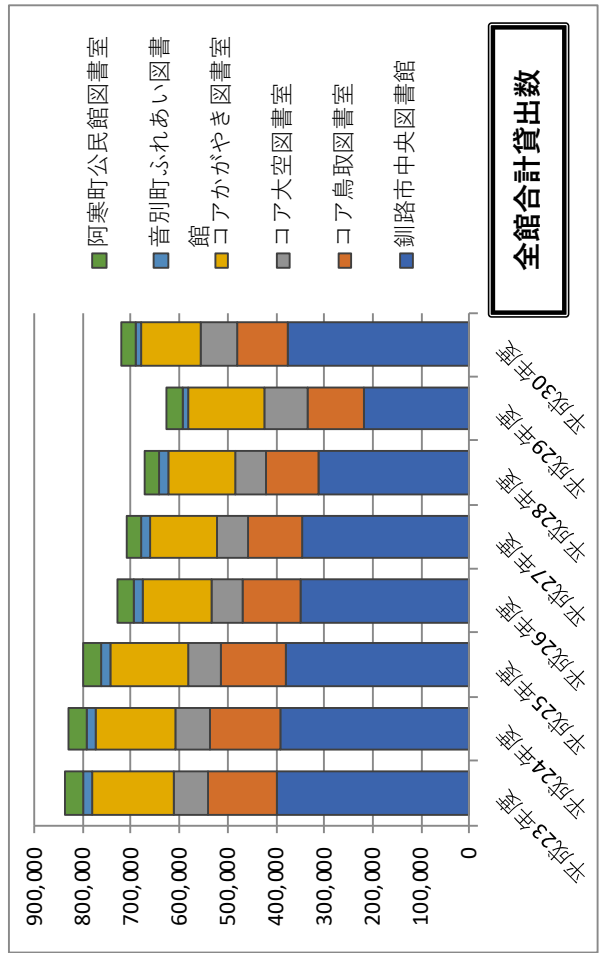
※中央図書館、阿寒町公民館図書室は、図書館バスの貸出人数を含む。



6 釧路市の図書館における貸出数の推移

年 度	釧路市中央図書館	コア鳥取図書室	コア大空図書室	コアかがやき図書室	音別町ふれあい図書館	阿寒町公民館図書室	全館合計
平成19年度	331,989	135,523	75,368	192,210	16,434	34,986	786,510
平成20年度	364,161	142,416	71,653	181,702	18,603	37,282	815,817
平成21年度	384,447	142,614	72,797	172,314	18,211	35,263	825,646
平成22年度	388,219	150,476	71,251	169,290	18,742	37,359	835,337
平成23年度	396,458	144,817	72,225	165,815	18,281	37,749	835,345
平成24年度	390,225	146,565	70,968	167,070	18,589	36,925	830,342
平成25年度	380,512	134,434	67,554	160,366	17,826	37,974	798,666
平成26年度	348,638	119,885	64,451	143,962	16,778	34,954	728,668
平成27年度	344,301	114,909	62,902	138,467	16,862	33,207	710,648
平成28年度	310,431	111,163	63,959	139,182	15,737	32,864	673,336
平成29年度	219,236	115,917	88,496	157,086	12,142	32,648	625,525
平成30年度	375,935	105,495	74,042	124,677	11,001	31,053	722,203

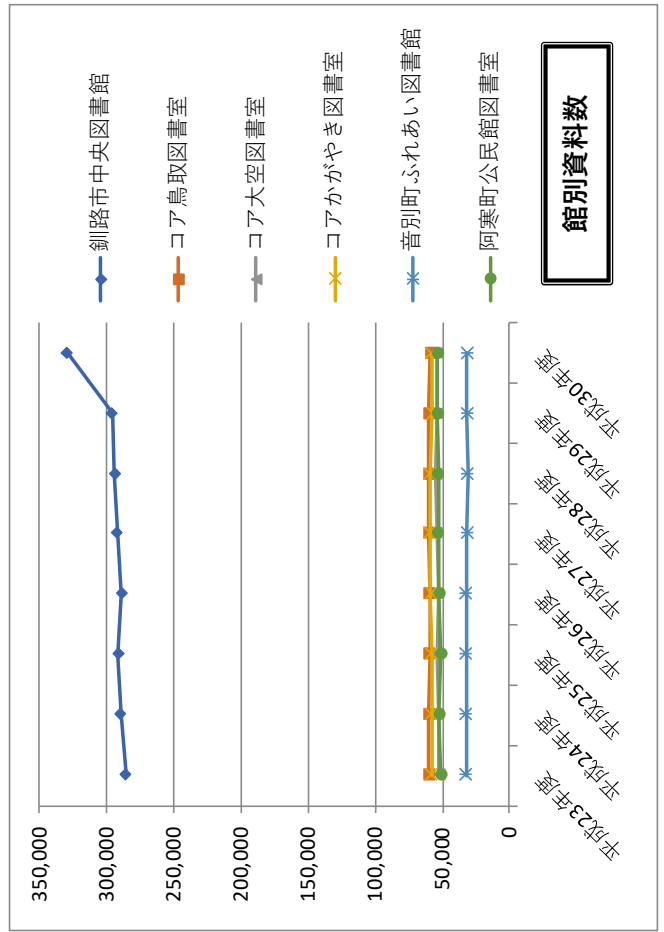
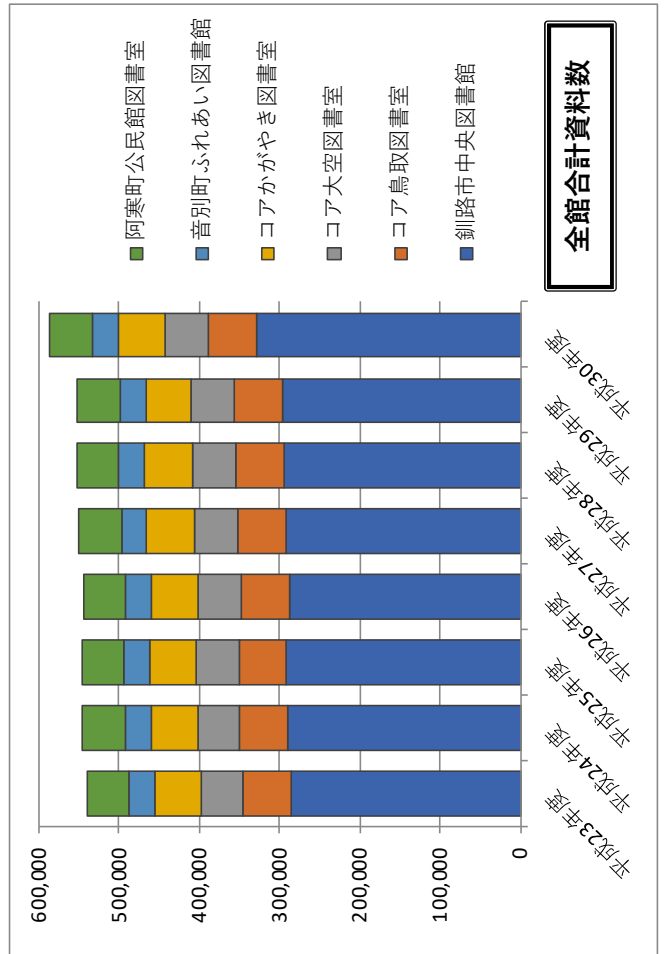
※中央図書館、阿寒町公民館図書室は、図書館バスの貸出数を含む。 ※貸出数には、CD貸出数を含む。



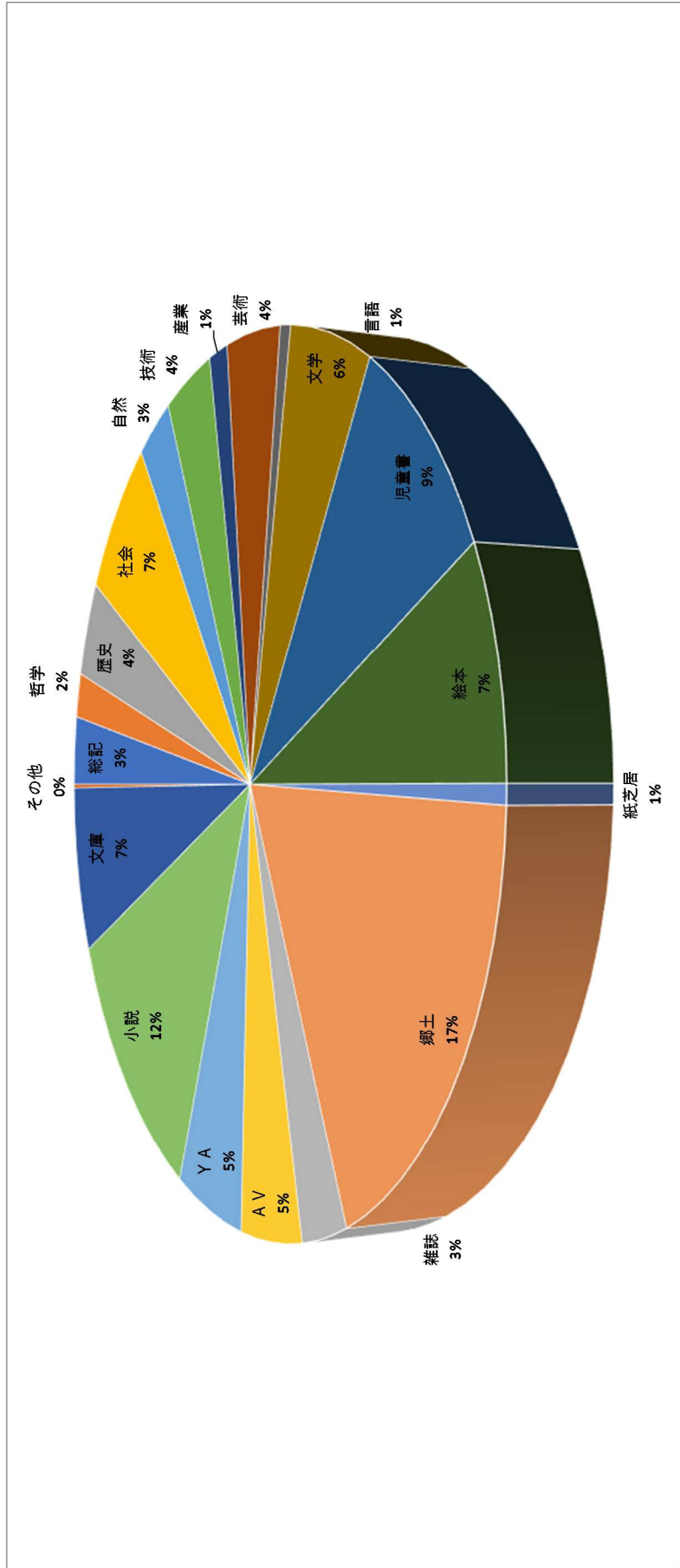
7 釧路市の図書館における 資料数の推移

年 度	釧路市中央図書館	コア鳥取図書室	コア大空図書室	コアかがやき図書室	音別町ふれあい図書館	阿寒町公民館図書室	全館合計
平成19年度	265,323	58,928	48,337	55,956	33,174	53,303	515,021
平成20年度	264,797	58,648	48,059	55,463	32,338	52,333	511,638
平成21年度	280,360	59,517	49,146	56,164	31,963	53,216	530,366
平成22年度	283,707	59,428	50,458	57,387	32,133	53,178	536,291
平成23年度	285,707	60,212	52,020	58,228	32,162	51,148	539,477
平成24年度	289,570	59,807	52,965	58,344	32,178	52,000	544,864
平成25年度	291,205	59,480	53,520	58,267	32,152	51,291	545,915
平成26年度	288,514	59,579	53,227	58,565	32,237	52,111	544,233
平成27年度	291,701	60,265	53,988	59,581	31,728	53,053	550,316
平成28年度	294,146	60,253	54,583	59,576	31,274	52,969	552,801
平成29年度	295,781	59,943	53,501	57,584	31,635	53,374	551,818
平成30年度	329,445	58,924	53,496	58,242	31,895	53,712	585,714

※中央図書館、阿寒町公民館図書室は、図書館バス資料数を含む。また、中央図書館は文学館資料数を含む。(平成30年2月から) ※資料数に雑誌は含まれていない。



8 釧路市中央図書館の蔵書構成



	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	児童書	絵本	紙芝居	郷土	雑誌	A V	Y A	小説	文庫	その他	合計
平成19年度	8,371	5,172	12,204	20,858	7,964	10,972	3,723	13,796	2,133	18,962	28,436	17,320	1,579	22,893	7,488	13,873	11,022	40,027	18,266	264	265,323
平成20年度	8,566	5,296	12,428	21,560	8,281	11,375	3,904	14,097	2,210	19,435	28,992	17,818	1,639	23,742	7,635	13,903	11,441	40,922	18,814	374	272,432
平成21年度	8,654	5,507	12,749	21,731	8,495	11,643	4,128	14,643	2,311	19,880	29,220	18,314	1,754	33,173	7,885	14,001	11,887	41,900	19,598	772	287,745
平成22年度	8,695	5,634	12,875	21,956	8,642	11,971	4,313	14,882	2,376	19,849	28,502	18,755	1,791	35,067	7,754	14,105	11,960	41,720	19,672	872	291,391
平成23年度	8,734	5,784	13,030	22,312	8,221	12,364	4,320	15,291	2,430	20,117	28,402	19,371	1,856	36,216	8,384	14,273	10,803	41,408	20,259	513	294,088
平成24年度	8,907	5,998	13,348	22,896	8,502	12,255	4,360	14,813	2,484	20,157	28,299	19,274	1,810	37,395	8,718	14,456	11,256	41,358	21,453	549	298,288
平成25年度	9,020	5,965	13,171	22,571	8,452	11,830	4,331	14,964	2,413	20,394	28,362	19,322	1,826	38,232	9,293	14,546	11,553	41,304	22,388	561	300,498
平成26年度	8,914	5,713	13,133	22,373	8,306	11,310	4,224	15,250	2,422	20,449	27,758	19,317	1,823	39,315	9,476	14,663	11,702	39,796	21,484	562	297,990
平成27年度	8,993	5,678	13,003	22,725	8,556	11,388	4,427	15,491	2,479	20,595	27,721	19,795	1,867	40,062	9,517	14,860	11,903	39,383	22,235	540	301,218
平成28年度	9,160	5,634	12,915	22,266	8,804	11,585	4,597	15,543	2,502	20,023	28,154	20,107	1,913	41,061	9,957	15,658	12,270	39,777	21,637	540	304,103
平成29年度	9,348	5,832	12,796	21,975	8,813	11,698	4,553	15,126	2,545	18,535	29,385	20,955	2,009	41,869	10,239	16,090	11,569	40,016	22,133	534	306,020
平成30年度	9,609	6,201	13,386	22,452	9,689	12,721	4,866	13,766	2,592	19,278	30,387	25,047	2,156	59,169	10,728	15,411	17,611	41,285	23,287	532	340,173

※文学館・BM含む※

9 第2期釧路市図書館基本計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 釧路市において新たに図書館基本計画を策定するにあたり、広く市民の意見を聴き、検討を行うため、第2期釧路市図書館基本計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項について検討及び協議し、教育長に提言するものとする。

- (1) 新釧路市図書館基本計画の策定に関すること。
- (2) その他教育委員会が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者、図書館協力団体関係者、学校教育関係者、地域経済関係者、市民活動団体関係者のうちから教育長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱を受けた日から第2条に規定する事項を取りまとめた日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 策定委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、策定委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 策定委員会は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

(関係者の出席)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、関係者に会議への出席を求め、又は関係者から意見、説明若しくは資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 策定委員会の庶務は、生涯学習部生涯学習課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が策定委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、2019（平成31）年4月2日から施行する。

10 第2期釧路市図書館基本計画策定委員会委員名簿

構 成	所 属	委 員
学識経験者	釧路工業高等専門学校	【委員長】小田島 本有
市民活動団体関係者	釧路市女性団体連絡協議会	【副委員長】穂積 貴美子
学校教育関係者	釧路市PTA連合会	川辺 大樹
学校教育関係者	釧路市小中学校校長会	黒坂 宏子
学校教育関係者	釧路市私立幼稚園連合会	小塩 美智子
市民活動団体関係者	釧路市連合町内会	大久保 貢
地域経済関係者 (中心市街地連携関係)	釧路市商工会議所	齋藤 大
地域経済関係者 (中心市街地連携関係)	くしろ北大通商店街振興組合	佐藤 公一郎
学識経験者	釧路短期大学	佐藤 宥紹
学識経験者	釧路公立大学	松野 奈都子
図書館協力団体関係者	釧路文学団体協議会	村川 三津子
図書館協力団体関係者	釧路リーディングサークルVEGA	和田 ひろみ

11 第2期釧路市図書館基本計画策定委員会検討経過

回	開催日	開催内容
第1回	令和元年 7月 8日(月)	・委員委嘱、委員長選出 ・第1期図書館基本計画の進捗状況 ・第2期図書館基本計画の検討の進め方
第2回	令和元年10月 9日(水)	・図書館利用者等意向調査の結果 ・基本目標と具体的施策の検討
第3回	令和元年10月31日(木)	・第2期図書館基本計画事務局案の検討 ・成果指標についての検討
第4回	令和元年11月13日(水)	・第2期図書館基本計画素案の検討
第5回	令和2年 2月10日(月)	・第2期図書館基本計画案の検討 ・パブリックコメント対応の検討

第2期釧路市図書館基本計画

【令和2年度～令和11年度】

発行 釧路市教育委員会

編集 釧路市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒085-0016 釧路市錦町2丁目4番地

電話 0154-31-4579

FAX 0154-22-9096

釧路市ホームページ <http://www.city.kushiro.lg.jp>